

# 学生の確保の見通し等を記載した書類 資料

## 目次

【資料1】「令和2年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況」	2
【資料2】（一社）日本看護系大学協議会 2023年度会員校（大学院一覧）	15
【資料3】2023年度専門看護師教育機関・課程一覧	16
【資料4】東京医科大学大学院看護学研究科 設置ニーズ調査集計結果	
4-1 看護職対象	17
4-2 卒業生対象	33
4-3 在校生対象	39
【資料5】大学院開設に関するニーズ調査 協力依頼	
5-1 看護職対象	42
5-2 卒業生対象	44
5-3 在校生対象	45
5-4 資料	46
【資料6】東京医科大学大学院看護学研究科 設置ニーズ調査	
6-1 看護職対象	48
6-2 卒業生対象	54
6-3 在校生対象	59
【資料7】設置ニーズ調査 配布先一覧（看護職対象）	62
【資料8】東京医科大学大学院看護学研究科 設置ニーズ調査集計結果（管理者対象）	63
【資料9】東京医科大学大学院看護学研究科 設置ニーズ調査 協力依頼（管理者対象）	66
【資料10】東京医科大学大学院看護学研究科 設置ニーズ調査（管理者対象）	69
【資料11】東京医科大学大学院看護学研究科 設置ニーズ調査送付先リスト（管理職対象）	72
【資料12】「2021年度（2022年度）『看護系大学に関する実態調査』	73
【資料】新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙1）	78
【資料】既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）（別紙2）	79
【資料】既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績（別紙3）	80

令和 4 年 1 月 27 日  
 照会先  
 政策統括官付参事官付行政報告統計室  
 室 長 前原 正男  
 衛生統計第一係  
 (代 表 番 号) 03(5253)1111 (内線 7511)  
 (直 通 番 号) 03(3595)2919

## 令和 2 年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況

	目 次	頁
衛生行政報告例の概要		1
結果の概要		2
1 就業保健師・助産師・看護師・准看護師		2
(1) 就業保健師等の年次推移		2
(2) 就業場所別にみた就業保健師等		3
(3) 雇用形態別にみた就業保健師等		4
(4) 年齢階級別にみた就業保健師等		4
(5) 都道府県別にみた人口 10 万対就業保健師等数		5
2 就業歯科衛生士・歯科技工士及び歯科技工所		7
(1) 就業歯科衛生士・歯科技工士及び歯科技工所数の年次推移		7
(2) 就業場所別にみた就業歯科衛生士・歯科技工士		7
(3) 年齢階級別にみた就業歯科衛生士・歯科技工士		7
3 就業あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師及び施術所		8
(1) 就業あん摩マッサージ指圧師等数の年次推移		8
(2) あん摩、マッサージ及び指圧を行う施術所等数の年次推移		8
統計表一覧		9
参考 1 就業保健師・助産師・看護師・准看護師の年齢階級別年次推移		15
参考 2 人口 10 万対比率の算出に用いた人口		17

本概況に掲載しているものは、衛生行政報告例の年度報・隔年報のうち、隔年報の主な項目についてまとめたものである。

令和 2 年衛生行政報告例（就業医療関係者）の結果は、厚生労働省ホームページにも掲載しています。

URL (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/36-19.html>)

# 衛生行政報告例の概要

## 1 報告の目的

衛生行政報告例は、衛生関係諸法規の施行に伴う各都道府県、指定都市及び中核市における衛生行政の実態を把握し、衛生行政運営の基礎資料を得ることを目的とする。

## 2 報告の対象

都道府県、指定都市及び中核市

## 3 報告の種類

年度報（51表）及び隔年報（12表）とする。

## 4 報告の事項

精神保健福祉関係、栄養関係、衛生検査関係、生活衛生関係、食品衛生関係、乳肉衛生関係、医療関係、薬事関係、母体保護関係、難病・小児慢性特定疾病関係、狂犬病予防関係

## 5 報告の方法及び系統

(1) 都道府県知事、指定都市及び中核市の長は、所定の報告事項について定められた期限までに、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）に提出する。

(2) 報告の系統は次のとおりである。

厚生労働省 ————— 都道府県・指定都市・中核市

## 6 利用上の注意

(1) 本概況は、年度報・隔年報報告のうち、隔年報で把握した以下に掲げる就業医療関係者（免許を取得している者のうち就業している者）等について、就業地の都道府県知事に届出のあった数値等を取りまとめたものである。ただし、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師は、施術所において従事している者、専ら出張のみにおいて従事している者、又は施術所として届出をした区域外において滞在して施術を行っている者のみである。柔道整復師は、施術所において従事している者のみである。

保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士、歯科技工士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師
---

(2) 表章記号の規約

計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
減少数又は減少率の場合	△
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

(3) 掲載している割合の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

(4) 本概況の人口10万対比率は、総務省統計局発表の「令和2年国勢調査人口等基本集計」により算出した。（17頁「参考2 人口10万対比率の算出に用いた人口」参照）

(5) 本概況に掲載している平成22年の数値の一部については、東日本大震災の影響により、宮城県の報告表の一部の提出が不可能な状況となったため、宮城県の数値が含まれていない。詳細は、各頁の表の脚注に記載している。

## 結 果 の 概 要

### 1 就業保健師・助産師・看護師・准看護師

#### (1) 就業保健師等の年次推移

令和2年末現在の就業保健師（以下「保健師」という。）は55,595人（男1,598人、女53,997人）で、前回（平成30年）に比べ2,640人（5.0%）増加している。

就業助産師（以下「助産師」という。）は37,940人で、前回に比べ1,029人（2.8%）増加している。

就業看護師（以下「看護師」という。）は1,280,911人（男104,365人、女1,176,546人）で、前回に比べ62,305人（5.1%）増加している。

就業准看護師（以下「准看護師」という。）は284,589人（男20,726人、女263,863人）で、前回に比べ19,890人（6.5%）減少している。（表1、統計表1、統計表2）

表1 就業保健師等の年次推移

各年末現在

	平成22年	24年	26年	28年	30年	令和2年	対平成30年	
	(2010)	('12)	('14)	('16)	('18)	('20)	増減数	増減率(%)
	実人員(人)							
保健師	45 028	47 279	48 452	51 280	52 955	55 595	2 640	5.0
男	582	730	936	1 137	1 352	1 598	246	18.2
女	44 446	46 549	47 516	50 143	51 603	53 997	2 394	4.6
助産師 <sup>1)</sup>	29 672	31 835	33 956	35 774	36 911	37 940	1 029	2.8
看護師	952 723	1 015 744	1 086 779	1 149 397	1 218 606	1 280 911	62 305	5.1
男	53 748	63 321	73 968	84 193	95 155	104 365	9 210	9.7
女	898 975	952 423	1 012 811	1 065 204	1 123 451	1 176 546	53 095	4.7
准看護師	368 148	357 777	340 153	323 111	304 479	284 589	△19 890	△ 6.5
男	23 196	23 148	22 877	22 140	21 777	20 726	△1 051	△ 4.8
女	344 952	334 629	317 276	300 971	282 702	263 863	△18 839	△ 6.7
	構成割合(%)							
保健師	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
男	1.3	1.5	1.9	2.2	2.6	2.9		
女	98.7	98.5	98.1	97.8	97.4	97.1		
看護師	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
男	5.6	6.2	6.8	7.3	7.8	8.1		
女	94.4	93.8	93.2	92.7	92.2	91.9		
准看護師	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
男	6.3	6.5	6.7	6.9	7.2	7.3		
女	93.7	93.5	93.3	93.1	92.8	92.7		
	人口10万対(人)							
保健師	35.2	37.1	38.1	40.4	41.9	44.1		
男	0.5	0.6	0.7	0.9	1.1	1.3		
女	34.7	36.5	37.4	39.5	40.8	42.8		
助産師 <sup>1)</sup>	23.2	25.0	26.7	28.2	29.2	30.1		
看護師	744.0	796.6	855.2	905.5	963.8	1015.4		
男	42.0	49.7	58.2	66.3	75.3	82.7		
女	702.0	746.9	797.0	839.2	888.5	932.7		
准看護師	287.5	280.6	267.7	254.6	240.8	225.6		
男	18.1	18.2	18.0	17.4	17.2	16.4		
女	269.4	262.4	249.7	237.1	223.6	209.2		

注：1)「助産師」は、女のみ。

## (2) 就業場所別にみた就業保健師等

就業場所別に実人員をみると、保健師は「市区町村」が30,450人（構成割合54.8%）と最も多くなっている。助産師、看護師及び准看護師は「病院」が最も多く、それぞれ23,321人（61.5%）、883,715人（69.0%）、101,628人（35.7%）となっている。

常勤換算数をみると、保健師は「市区町村」が27,967.8人（54.4%）と最も多くなっている。助産師、看護師及び准看護師は「病院」が最も多く、それぞれ22,217.2人（64.9%）、846,036.3人（72.2%）、93,985.3人（38.1%）となっている。（表2）

表2 就業場所別にみた就業保健師等（実人員・常勤換算数<sup>1)</sup>）

令和2（2020）年末現在

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数
	実人員・常勤換算数（人）							
総数	55 595	51 405.1	37 940	34 248.4	1 280 911	1 172 014.1	284 589	246 696.0
病院	3 559	3 329.7	23 321	22 217.2	883 715	846 036.3	101 628	93 985.3
診療所	2 301	2 088.1	8 562	7 382.9	169 343	135 240.4	92 389	76 829.4
助産所	4	3.8	2 369	1 955.6	267	218.4	68	55.6
訪問看護ステーション	307	255.0	37	28.5	62 157	53 404.2	5 347	4 327.3
介護保険施設等 <sup>2)</sup>	1 603	1 527.9	<sup>3)</sup> ...	<sup>3)</sup> ...	100 701	82 697.4	70 477	59 563.0
社会福祉施設	519	457.9	23	20.0	22 021	18 332.5	10 555	8 860.4
保健所	8 523	7 963.3	354	195.2	1 543	918.5	43	25.1
都道府県	1 429	1 349.3	65	59.7	2 099	1 717.1	39	27.1
市区町村	30 450	27 967.8	1 474	792.9	7 544	4 818.0	903	542.3
事業所	3 789	3 551.5	29	19.1	5 176	4 349.4	1 063	808.3
看護師等学校養成所 又は研究機関	1 194	1 159.2	1 562	1 487.9	17 519	16 868.1	46	39.9
その他	1 917	1 751.6	144	89.4	8 826	7 413.8	2 031	1 632.3
	構 成 割 合（%）							
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
病院	6.4	6.5	61.5	64.9	69.0	72.2	35.7	38.1
診療所	4.1	4.1	22.6	21.6	13.2	11.5	32.5	31.1
助産所	0.0	0.0	6.2	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0
訪問看護ステーション	0.6	0.5	0.1	0.1	4.9	4.6	1.9	1.8
介護保険施設等 <sup>2)</sup>	2.9	3.0	<sup>3)</sup> ...	<sup>3)</sup> ...	7.9	7.1	24.8	24.1
社会福祉施設	0.9	0.9	0.1	0.1	1.7	1.6	3.7	3.6
保健所	15.3	15.5	0.9	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0
都道府県	2.6	2.6	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0
市区町村	54.8	54.4	3.9	2.3	0.6	0.4	0.3	0.2
事業所	6.8	6.9	0.1	0.1	0.4	0.4	0.4	0.3
看護師等学校養成所 又は研究機関	2.1	2.3	4.1	4.3	1.4	1.4	0.0	0.0
その他	3.4	3.4	0.4	0.3	0.7	0.6	0.7	0.7

注：1) 常勤換算数とは、各就業者に常勤換算率を掛けた数値を足し上げたものである。

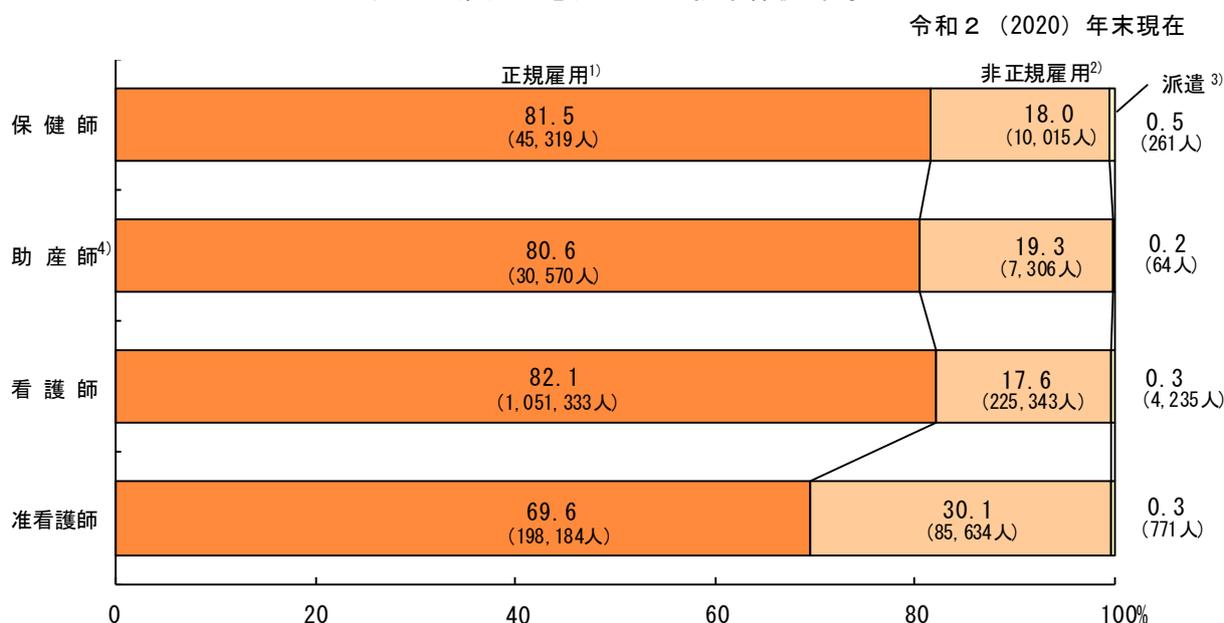
2) 「介護保険施設等」とは、「介護老人保健施設」「介護医療院」「指定介護老人福祉施設」「居宅サービス事業所」「居宅介護支援事業所」等をいう。

3) 「助産師」は、「介護保険施設等」について調査していない。

### (3) 雇用形態別にみた就業保健師等

雇用形態別にみると、保健師、助産師、看護師及び准看護師のいずれも「正規雇用」が最も多く、保健師は45,319人（構成割合81.5%）、助産師は30,570人（80.6%）、看護師は1,051,333人（82.1%）、准看護師は198,184人（69.6%）となっている（図1）。

図1 雇用形態別にみた就業保健師等



注：括弧内は実人員である。

1) 「正規雇用」とは、施設が直接雇い入れた者であって、契約期間が限定されていない者をいう。

2) 「非正規雇用」とは、名称に係わらず、「正規雇用」及び「派遣」に該当しない者をいう。

3) 「派遣」とは、派遣会社から派遣されている者をいう。

4) 「助産師」は、助産所開設者を含む。

### (4) 年齢階級別にみた就業保健師等

年齢階級別にみると、保健師は「40～44歳」が8,016人（構成割合14.4%）と最も多くなり、助産師は「25～29歳」5,797人（15.3%）、看護師は「40～44歳」181,281人（14.2%）、准看護師は「55～59歳」46,454人（16.3%）が最も多くなっている（表3、統計表2）。

表3 年齢階級別にみた就業保健師等

令和2（2020）年末現在

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	実人員(人)	構成割合(%)	実人員(人)	構成割合(%)	実人員(人)	構成割合(%)	実人員(人)	構成割合(%)
総数	55 595	100.0	37 940	100.0	1 280 911	100.0	284 589	100.0
25歳未満	2 154	3.9	2 232	5.9	107 574	8.4	6 539	2.3
25～29歳	6 419	11.5	5 797	15.3	166 512	13.0	8 336	2.9
30～34	7 384	13.3	4 920	13.0	138 792	10.8	11 134	3.9
35～39	8 003	14.4	4 836	12.7	153 523	12.0	20 601	7.2
40～44	8 016	14.4	4 963	13.1	181 281	14.2	31 517	11.1
45～49	7 114	12.8	4 802	12.7	173 766	13.6	37 161	13.1
50～54	6 371	11.5	4 050	10.7	142 039	11.1	41 810	14.7
55～59	5 606	10.1	3 052	8.0	110 012	8.6	46 454	16.3
60～64	3 010	5.4	1 841	4.9	67 267	5.3	40 571	14.3
65歳以上	1 518	2.7	1 447	3.8	40 145	3.1	40 466	14.2

### (5) 都道府県別にみた人口10万対就業保健師等数

都道府県別に人口10万人当たりの保健師数をみると、「長野県」が82.6人と最も多く、次いで「高知県」が80.7人、「山梨県」が80.2人となっている。一方、「神奈川県」が26.9人と最も少なく、次いで「大阪府」が27.7人、「埼玉県」が30.7人となっている。（図2）

人口10万人当たりの助産師数をみると、「島根県」が50.7人と最も多く、次いで「鳥取県」が46.4人、「長野県」が43.9人となっている。一方、「広島県」が24.0人と最も少なく、次いで「埼玉県」が24.1人、「愛媛県」が24.3人となっている。（図3）

図2 人口10万対就業保健師数

令和2（2020）年末現在

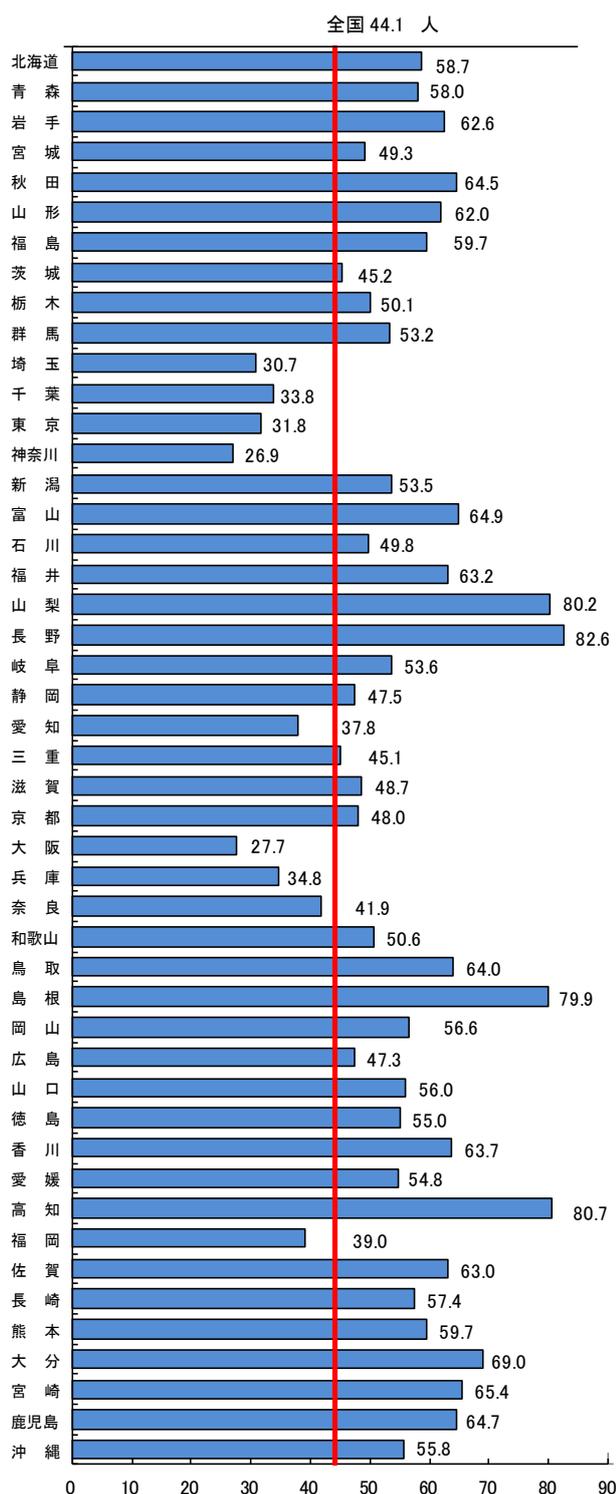
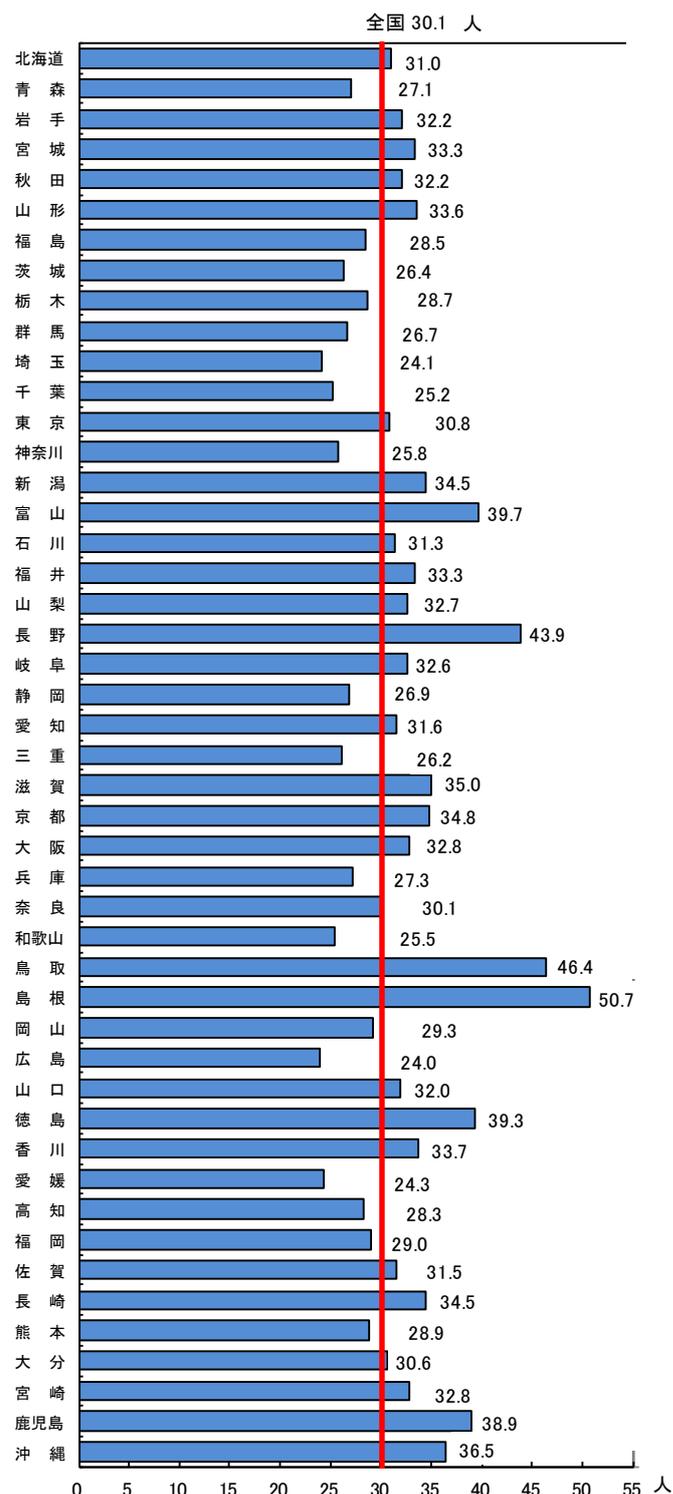


図3 人口10万対就業助産師数

令和2（2020）年末現在



人口10万人当たりの看護師数をみると、「高知県」が1,623.4人と最も多く、次いで「鹿児島県」が1,476.0人、「佐賀県」が1,403.6人となっている。一方、「埼玉県」が736.9人と最も少なく、次いで「千葉県」が770.0人、「神奈川県」が791.8人となっている。（図4）

人口10万人当たりの准看護師数をみると、「熊本県」が542.7人と最も多く、次いで「宮崎県」が540.6人、「佐賀県」が529.8人となっている。一方、「東京都」が85.9人と最も少なく、次いで「神奈川県」が90.4人、「滋賀県」が109.9人となっている。（図5）

図4 人口10万対就業看護師数

令和2（2020）年末現在

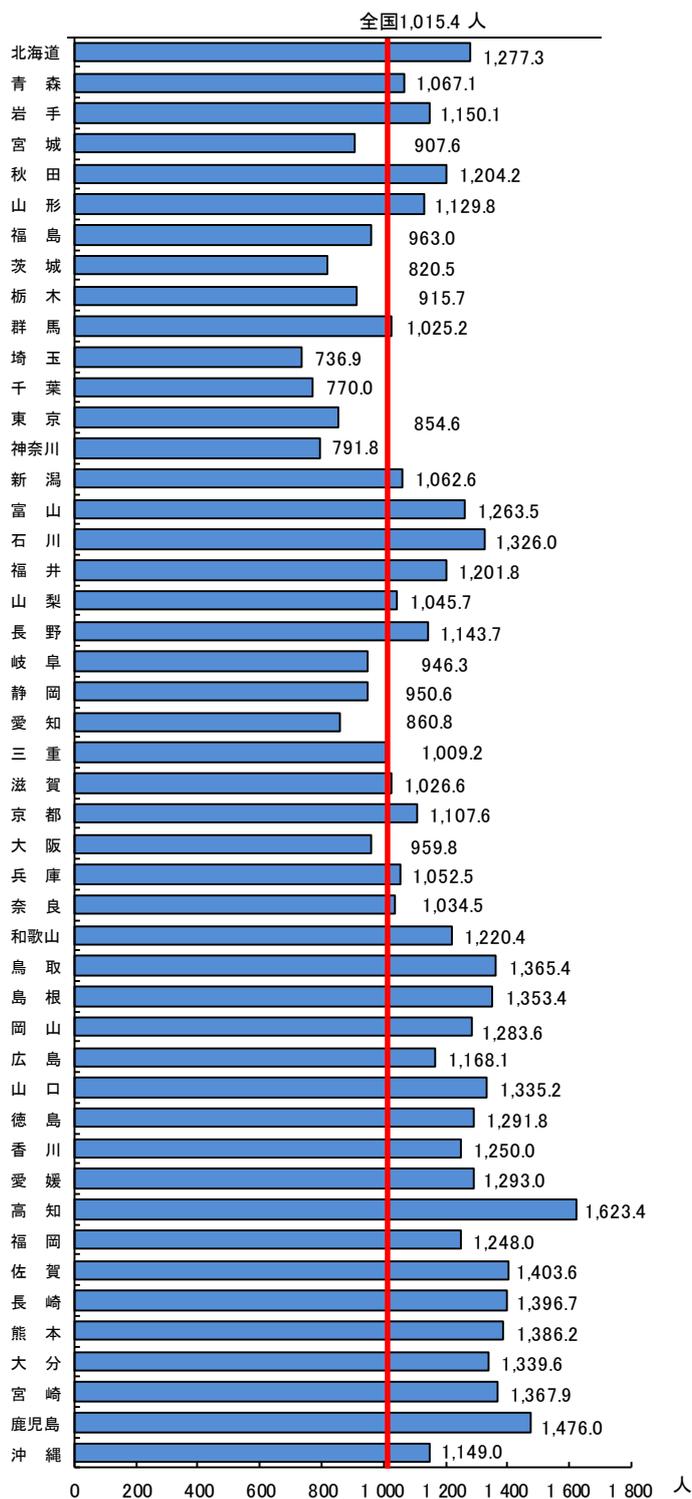
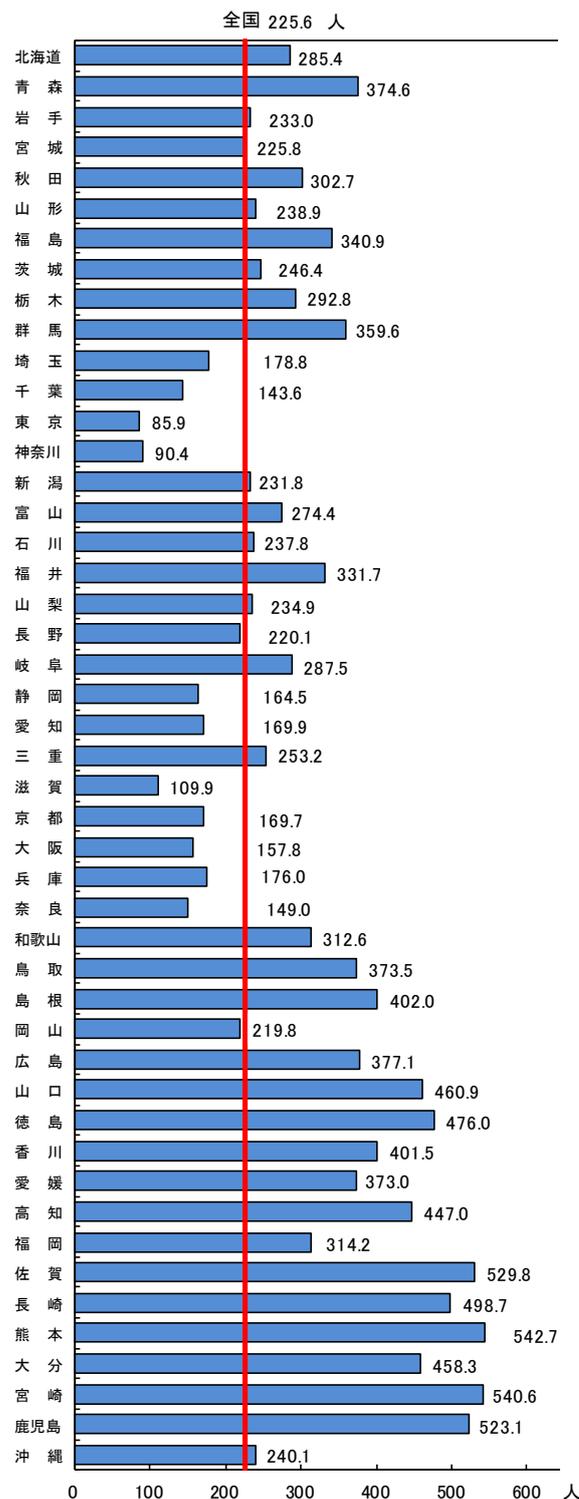


図5 人口10万対就業准看護師数

令和2（2020）年末現在



## 統計表一覧

- 統計表 1 就業保健師・助産師・看護師・准看護師数，実人員一常勤換算数，都道府県別
- 統計表 2 就業保健師・助産師・看護師・准看護師数，年齢階級，年次別
- 統計表 3 就業歯科衛生士・歯科技工士・歯科技工所数，都道府県別
- 統計表 4 就業歯科衛生士・歯科技工士数，年齢階級，年次別
- 統計表 5 就業あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師数，都道府県別

統計表 1 就業保健師・助産師・看護師・准看護師数，実人員－常勤換算数<sup>1)</sup>，都道府県別  
(単位：人) 令和 2 (2020) 年末現在

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数
全 国	55 595	51 405.1	37 940	34 248.4	1 280 911	1 172 014.1	284 589	246 696.0
北 海 道	3 065	2 865.7	1 620	1 503.3	66 733	61 981.9	14 913	13 227.9
青 森	718	674.4	336	313.9	13 211	12 539.2	4 637	4 294.5
岩 手	758	710.9	390	367.0	13 922	13 097.0	2 820	2 515.2
宮 城	1 136	1 049.7	767	686.4	20 893	19 526.3	5 197	4 646.0
秋 田	619	592.9	309	297.9	11 554	10 879.8	2 904	2 639.0
山 形	662	618.1	359	341.9	12 067	11 357.7	2 551	2 297.2
福 島	1 094	1 050.7	522	489.5	17 654	16 791.9	6 249	5 714.8
茨 城	1 295	1 210.1	757	686.4	23 523	21 476.0	7 064	6 235.5
栃 木	968	873.3	555	485.1	17 702	15 884.1	5 661	4 983.4
群 馬	1 031	967.2	518	462.7	19 879	18 303.1	6 974	6 068.1
埼 玉	2 258	2 046.2	1 767	1 563.9	54 124	48 630.9	13 134	11 035.4
千 葉	2 124	1 849.9	1 583	1 372.0	48 391	43 469.1	9 024	7 799.0
東 京	4 464	4 070.7	4 322	3 902.7	120 049	110 109.2	12 063	10 299.2
神 奈 川	2 482	2 222.3	2 384	2 114.1	73 139	65 332.2	8 355	6 758.4
新 潟	1 178	1 091.5	759	686.8	23 390	21 799.6	5 102	4 396.6
富 山	672	625.1	411	388.4	13 075	12 109.4	2 840	2 482.1
石 川	564	538.5	354	330.0	15 017	13 891.0	2 693	2 356.4
福 井	485	466.6	255	229.7	9 216	7 815.2	2 544	2 217.6
山 梨	650	599.2	265	241.5	8 470	7 781.6	1 903	1 650.0
長 野	1 691	1 528.4	900	811.7	23 423	21 182.7	4 507	3 839.2
岐 阜	1 061	941.6	645	549.9	18 724	16 632.9	5 689	4 709.0
静 岡	1 727	1 602.7	976	883.1	34 536	31 155.1	5 977	5 081.8
愛 知	2 848	2 555.6	2 386	2 110.1	64 927	58 250.5	12 812	10 695.6
三 重	798	738.8	464	421.1	17 866	15 994.3	4 482	3 715.4
滋 賀	688	640.3	495	434.2	14 512	12 964.5	1 554	1 232.8
京 都	1 238	1 166.3	897	796.9	28 555	25 817.2	4 375	3 533.2
大 阪	2 446	2 316.0	2 896	2 589.8	84 826	77 217.0	13 945	11 274.3
兵 庫	1 903	1 725.8	1 493	1 342.5	57 521	51 665.9	9 619	7 822.9
奈 良	555	527.6	399	362.8	13 702	12 418.0	1 974	1 563.1
和 歌 山	467	443.7	235	216.0	11 259	10 286.9	2 884	2 400.5
鳥 取	354	339.9	257	244.1	7 556	7 108.3	2 067	1 844.3
島 根	536	506.2	340	314.2	9 083	8 399.7	2 698	2 309.3
岡 山	1 069	997.5	553	513.4	24 240	22 401.2	4 151	3 612.9
広 島	1 323	1 227.4	671	617.8	32 704	29 870.8	10 557	9 021.8
山 口	752	704.3	429	392.5	17 919	16 473.5	6 185	5 476.5
徳 島	396	360.1	283	252.2	9 295	8 397.7	3 425	3 044.6
香 川	605	568.1	320	293.6	11 878	11 081.7	3 815	3 367.0
愛 媛	731	691.7	325	295.4	17 259	15 986.3	4 979	4 343.3
高 知	558	536.9	196	181.8	11 226	10 723.7	3 091	2 787.2
福 岡	2 002	1 877.6	1 487	1 348.2	64 086	59 627.8	16 133	14 538.8
佐 賀	511	480.9	256	230.6	11 389	10 715.2	4 299	3 834.7
長 崎	753	710.1	453	431.8	18 329	17 280.7	6 545	5 893.2
熊 本	1 038	979.8	502	462.2	24 097	21 951.1	9 433	8 541.9
大 分	776	722.3	344	312.6	15 055	14 032.6	5 151	4 612.5
宮 崎	700	664.7	351	330.5	14 631	13 807.3	5 782	5 291.5
鹿 児 島	1 027	954.4	618	550.0	23 443	21 981.9	8 308	7 498.4
沖 縄	819	773.4	536	496.2	16 861	15 814.4	3 524	3 194.0

注：1) 常勤換算数とは、各就業者に常勤換算率を掛けた数値を足上げたものである。

統計表 2 就業保健師・助産師・看護師・准看護師数, 年齢階級, 年次別

(単位: 人)

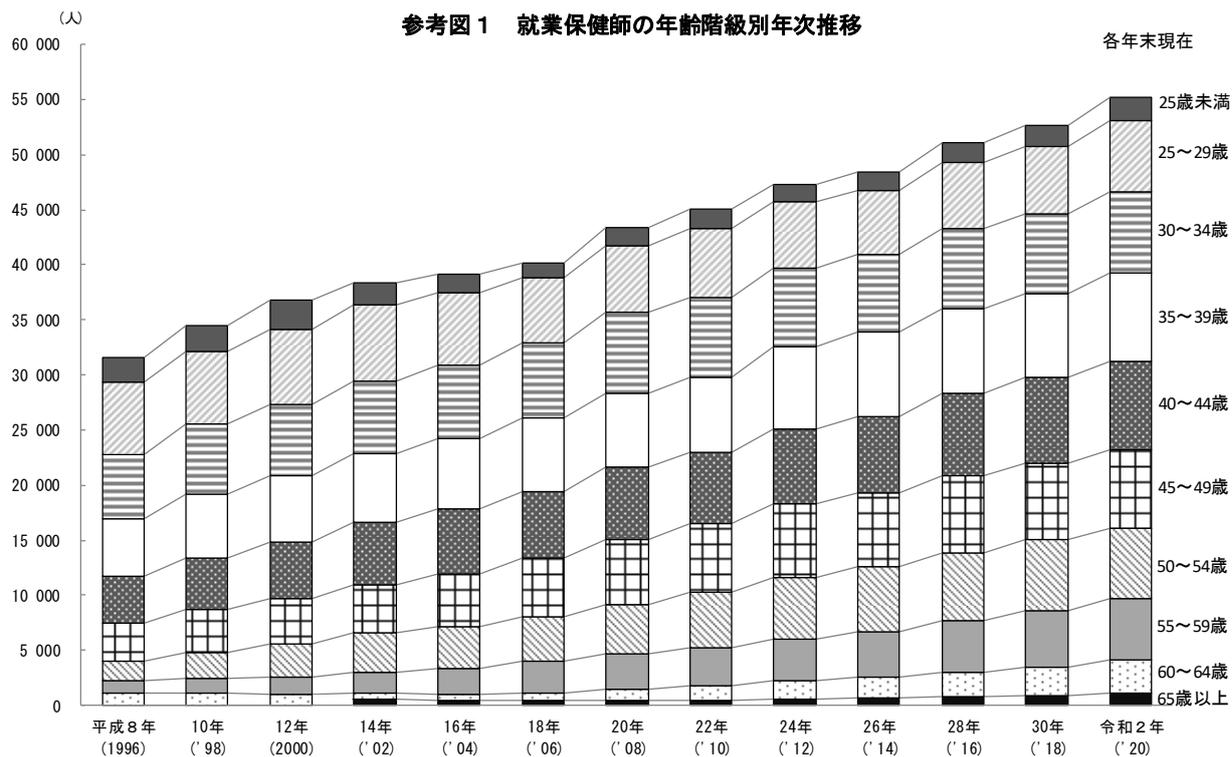
各年末現在

	平成8年 (1996)	10年 (’98)	12年 (2000)	14年 (’02)	16年 (’04)	18年 (’06)	20年 (’08)	22年 (’10)	24年 (’12)	26年 (’14)	28年 (’16)	30年 (’18)	令和2年 (’20)
<b>保 健 師<sup>1)</sup></b>													
総 数	31 581	34 468	36 781	38 366	39 195	40 191	43 446	45 028	47 279	48 452	51 280	52 955	55 595
25歳未満	2 189	2 396	2 593	2 025	1 683	1 335	1 744	1 767	1 581	1 730	1 777	1 885	2 154
25～29歳	6 648	6 531	6 822	6 865	6 658	5 960	6 031	6 186	5 972	5 757	6 002	6 200	6 419
30～34	5 840	6 393	6 480	6 622	6 626	6 780	7 357	7 270	7 191	7 107	7 223	7 265	7 384
35～39	5 185	5 796	6 018	6 244	6 325	6 679	6 653	6 774	7 393	7 594	7 734	7 567	8 003
40～44	4 208	4 601	5 155	5 677	6 002	5 998	6 608	6 526	6 863	6 933	7 482	7 838	8 016
45～49	3 469	3 935	4 101	4 374	4 713	5 432	5 876	6 264	6 676	6 674	7 058	6 855	7 114
50～54	1 829	2 386	3 027	3 590	3 814	3 983	4 475	4 972	5 586	5 933	6 063	6 440	6 371
55～59	1 071	1 320	1 525	1 880	2 321	2 912	3 249	3 437	3 779	4 173	4 751	5 177	5 606
60～64				575	652	712	1 012	1 344	1 628	1 824	2 168	2 521	3 010
65～69											812	936	1 117
70～74											147	214	338
75～79	1 142	1 110	1 060	514	401	400	441	488	610	727	49	43	47
80～84											4	11	11
85歳以上											10	3	5
<b>助 産 師</b>													
総 数	23 615	24 202	24 511	24 340	25 257	25 775	27 789	29 672	31 835	33 956	35 774	36 911	37 940
25歳未満	2 068	1 972	1 973	1 761	1 708	1 726	1 862	1 918	1 963	2 016	1 941	2 167	2 232
25～29歳	4 940	4 950	4 917	4 840	4 707	4 726	4 791	4 976	5 204	5 465	5 543	5 653	5 797
30～34	3 509	3 996	4 018	4 158	4 289	4 282	4 468	4 547	4 860	5 041	5 072	4 897	4 920
35～39	2 933	3 233	3 556	3 584	3 857	3 985	4 294	4 542	4 711	4 873	4 978	4 924	4 836
40～44	2 431	2 716	2 958	3 110	3 427	3 428	3 891	4 148	4 475	4 797	4 978	5 129	4 963
45～49	2 037	2 218	2 338	2 300	2 623	2 847	3 195	3 569	3 875	4 255	4 634	4 599	4 802
50～54	1 046	1 398	1 716	1 812	1 897	2 005	2 278	2 661	2 962	3 207	3 533	3 851	4 050
55～59	602	713	788	949	1 170	1 367	1 570	1 690	1 886	2 189	2 543	2 760	3 052
60～64				343	440	504	676	923	1 137	1 207	1 448	1 638	1 841
65～69											717	830	887
70～74											223	296	391
75～79	4 049	3 006	2 247	1 483	1 139	905	764	698	762	906	85	104	121
80～84											36	36	29
85歳以上											43	27	19
<b>看 護 師</b>													
総 数	544 929	594 447	653 617	703 913	760 221	811 972	877 182	952 723	1 015 744	1 086 779	1 149 397	1 218 606	1 280 911
25歳未満	87 839	92 243	98 792	90 754	85 196	81 080	83 103	86 512	82 947	89 145	96 296	103 446	107 574
25～29歳	121 577	125 462	137 363	149 516	154 735	151 054	145 472	145 557	141 931	141 903	145 442	154 222	166 512
30～34	83 286	96 049	103 374	114 159	127 043	139 708	151 230	155 066	150 282	147 799	142 870	140 543	138 792
35～39	76 283	82 889	91 075	98 336	108 522	120 795	130 989	147 573	162 961	169 474	164 836	157 790	153 523
40～44	63 848	72 660	82 140	88 960	97 605	103 425	117 950	129 323	144 616	158 440	172 831	183 793	181 281
45～49	48 504	56 993	63 474	70 983	80 909	90 411	99 025	111 320	123 806	137 191	151 497	159 750	173 766
50～54	21 893	29 007	40 222	51 162	58 282	64 742	74 695	86 751	97 916	108 128	115 792	132 237	142 039
55～59	14 238	16 222	17 566	21 500	29 639	41 093	49 041	56 705	65 717	77 105	88 103	97 611	110 012
60～64				7 652	9 126	10 442	15 857	23 546	32 205	39 133	46 754	56 799	67 267
65～69											18 841	23 654	28 000
70～74											4 036	6 336	9 663
75～79	27 461	22 922	19 611	10 891	9 164	9 222	9 820	10 370	13 363	18 461	1 165	1 559	1 759
80～84											518	409	409
85歳以上											416	457	314
<b>准 看 護 師</b>													
総 数	383 967	391 374	388 851	393 413	385 960	382 149	375 042	368 148	357 777	340 153	323 111	304 479	284 589
20歳未満	3 553	2 618	2 197	2 482	1 422	501	531	730	291	313	280	216	222
20～24歳	53 715	53 243	42 467	35 461	26 332	20 995	15 706	11 808	9 072	8 956	8 544	7 483	6 317
25～29	49 389	43 681	41 182	42 651	37 587	31 424	25 407	21 831	16 674	12 424	9 795	8 971	8 336
30～34	45 164	44 557	42 259	41 872	39 478	38 713	38 438	34 564	28 568	23 589	18 901	14 725	11 134
35～39	54 458	54 423	52 034	49 741	47 645	46 828	42 436	40 910	40 185	36 472	30 212	24 529	20 601
40～44	53 790	52 852	57 636	59 382	58 517	53 543	52 388	48 673	45 994	41 380	38 834	36 763	31 517
45～49	62 009	63 273	56 772	54 206	55 666	60 374	59 567	56 629	52 835	48 803	45 988	40 229	37 161
50～54	31 444	39 187	53 351	59 745	56 815	51 993	51 582	56 115	58 115	54 736	48 178	45 895	41 810
55～59	25 223	28 769	27 792	29 851	40 113	51 925	53 014	49 412	47 213	48 755	52 164	50 262	46 454
60～64				14 612	16 411	16 446	23 287	33 057	39 760	39 064	37 084	37 292	40 571
65～69											24 753	26 131	23 808
70～74											6 061	9 001	13 474
75～79	5 222	8 771	13 161	3 410	5 974	9 407	12 686	14 419	19 070	25 661	2 098	2 581	2 554
80～84											170	364	574
85歳以上											49	37	56

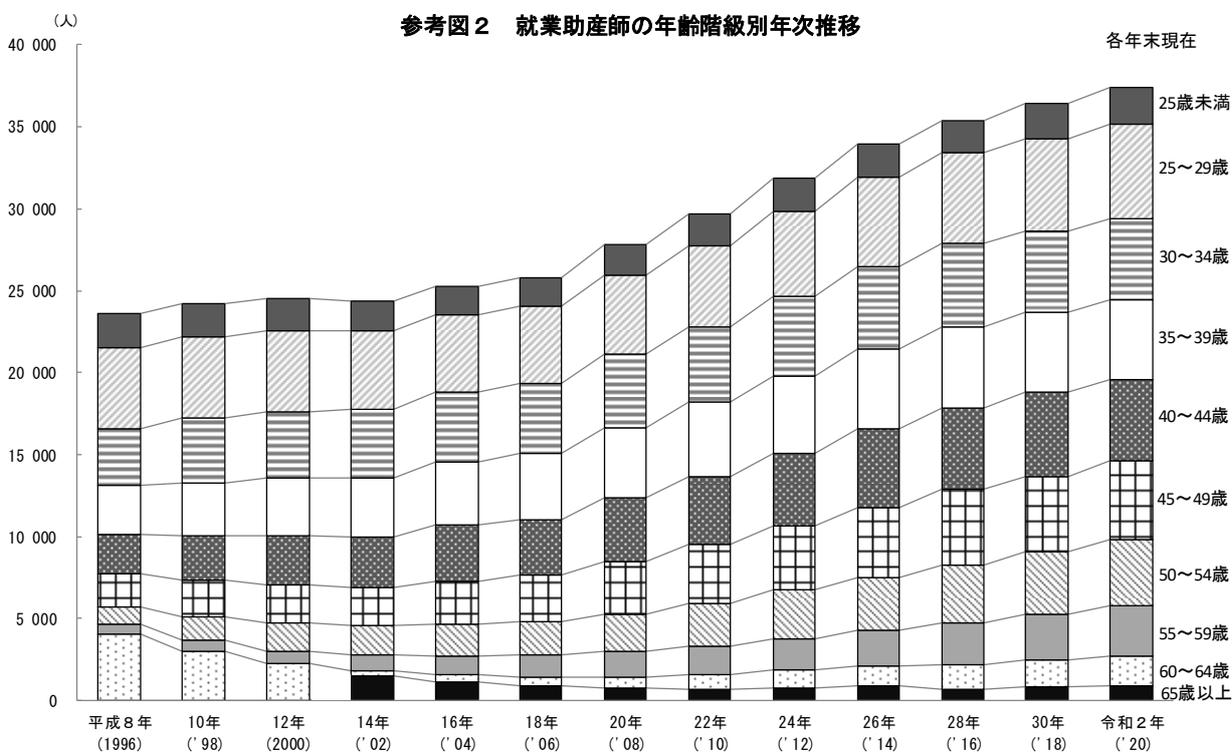
注:平成12年以前の「保健師」、「助産師」、「看護師」及び「准看護師」は、それぞれ「保健婦(士)」、「助産婦」、「看護婦(士)」及び「准看護婦(士)」の数である。

1)平成5年11月から、保健婦の業務に「保健士」として男も従事できるようになったことにより、平成8年以降の数値には「保健士」を含む。

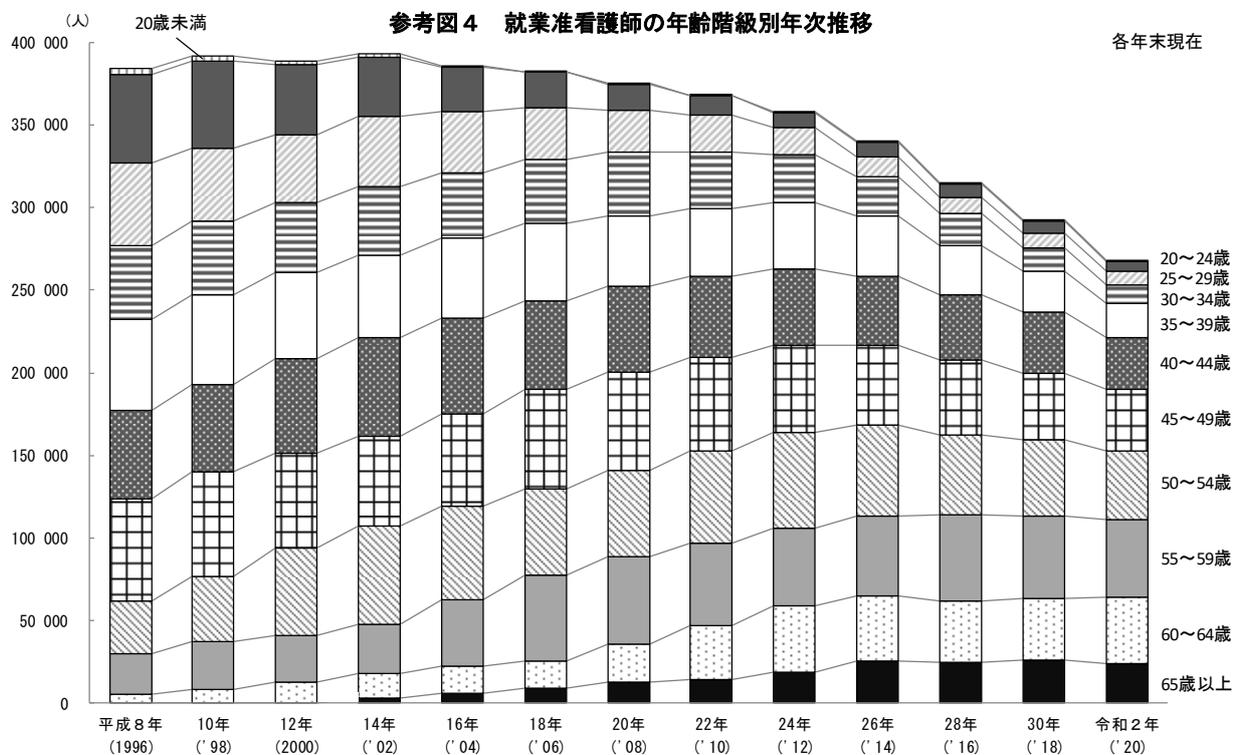
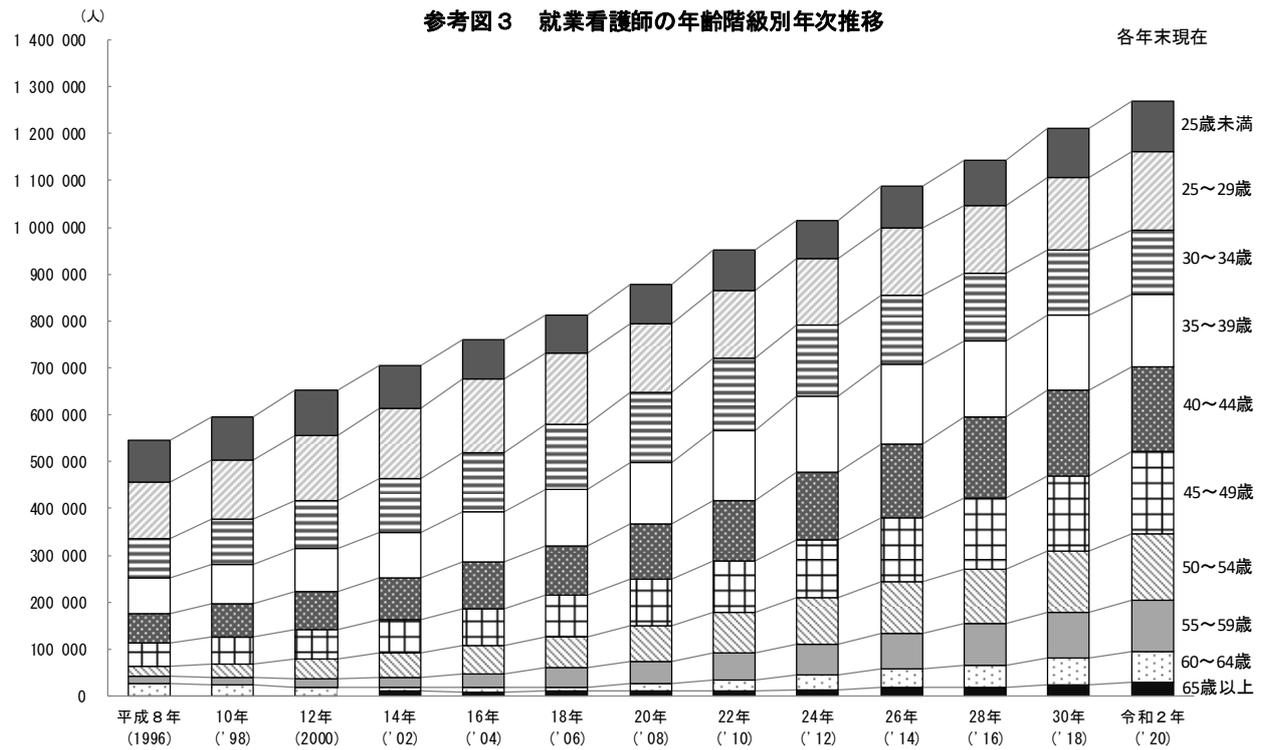
参考1 就業保健師・助産師・看護師・准看護師の年齢階級別年次推移



注：1 平成5年11月から、保健婦の業務に「保健士」として男も従事できるようになったことにより、平成8年～12年は「保健婦（士）」の数である。  
 2 平成8年～12年の60～64歳には65歳以上を含む。



注：1 平成12年以前は「助産婦」の数である。  
 2 平成8年～12年の60～64歳には65歳以上を含む。



参考2 人口10万対比率の算出に用いた人口

都道府県別 総人口  
(単位：人)

		総人口
全	国	126 146 099
北	海	5 224 614
青	道	1 237 984
岩	森	1 210 534
宮	手	2 301 996
秋	城	959 502
山	田	1 068 027
福	形	1 833 152
茨	島	2 867 009
栃	城	1 933 146
群	木	1 939 110
埼	馬	7 344 765
千	玉	6 284 480
東	葉	14 047 594
神	京	9 237 337
新	奈	2 201 272
富	川	1 034 814
石	山	1 132 526
福	川	766 863
山	井	809 974
長	梨	2 048 011
岐	野	1 978 742
静	阜	3 633 202
愛	岡	7 542 415
三	知	1 770 254
滋	重	1 413 610
京	賀	2 578 087
大	都	8 837 685
兵	阪	5 465 002
奈	庫	1 324 473
和	良	922 584
鳥	山	553 407
島	取	671 126
岡	根	1 888 432
広	山	2 799 702
山	島	1 342 059
徳	島	719 559
香	川	950 244
愛	媛	1 334 841
高	知	691 527
福	岡	5 135 214
佐	賀	811 442
長	崎	1 312 317
熊	本	1 738 301
大	分	1 123 852
宮	崎	1 069 576
鹿	島	1 588 256
沖	縄	1 467 480

資料：「令和2年国勢調査人口等基本集計」（総務省統計局）



該当1都4県を抜粋

2023年度専門看護師教育機関・課程一覧（107大学大学院327教育課程）

○：新規認定

○：38単位

◆：休講

都道府県	教育機関名 (都道府県順)	認定 課程数	専門看護分野 (14分野)														
			がん 看護	精神 看護	地域 看護	老人 看護	小児 看護	母性 看護	慢性 看護 患者	急性 看護 患者	感染 看護	家族 支援	在宅 看護	遺伝 看護	災害 看護	放射 看護	
茨城県	茨城県立医療大学大学院	3		○		○	○										
	筑波大学大学院	4	○	○						○			○				
	茨城キリスト教大学大学院	2								○	○						
	常磐大学大学院	2		○			○										
埼玉県	埼玉医科大学大学院	2	○	○													
	埼玉県立大学大学院	3	○	○			○										
千葉県	千葉大学大学院	2	○				○										
	順天堂大学大学院	9	○	○		○	○		○	○	○		○				
	千葉科学大学大学院	1					◆										
東京都	亀田医療大学大学院	3	○	○							○						
	聖路加国際大学大学院	9	○	○		○	○	○	○	○			○	○			
	東京医科歯科大学大学院	1									○						
	東京女子医科大学大学院	4		○		○	○			○							
	日本赤十字看護大学大学院	8	○	○		○	○		○	○			○		○		
	東京都立大学大学院	2					○			○							
	杏林大学大学院	3	○	○						○							
	東邦大学大学院	2	○				○										
	東京慈恵会医科大学大学院	4	○				○			○			○				
	武蔵野大学大学院	1		○													
	国立看護大学校研究課程部	4	○	○			○				○						
神奈川県	国際医療福祉大学大学院	4	○	○							○		○				
	北里大学大学院	6	○	○		○	○	○			○						
	東海大学大学院	4	○								○		○				
	慶應義塾大学大学院	4	○	○		○								○			
	横浜国立大学大学院	4	○			○	○					◆					
	昭和大学大学院	3	○	○		○											
	神奈川県立保健福祉大学大学院	2	○				○										
	湘南医療大学大学院	2	○									○					

【資料4—1】 東京医科大学大学院看護学研究科 設置ニーズ調査  
看護職対象 集計結果

## I あなた自身について

## 1. あなたのご所属は

n=750

選択肢	回答数	%
医療機関	744	99.2
行政機関	2	0.3
訪問看護ステーション	1	0.1

## 2. あなたの性別は

n=750

選択肢	回答数	%
女性	704	93.9
男性	46	6.1

## 3. あなたの年齢は

n=750

選択肢	回答数	%
20～29 歳	276	36.8
30～39 歳	181	24.1
40～49 歳	185	24.7
50～59 歳	92	12.3
60 歳以上	16	2.1

## 4. 保有している看護職資格は(複数回答可)

n=750

選択肢	回答数	%
看護師	740	98.7
助産師	38	5.1
保健師	96	12.8
准看護師	23	3.1

5. 看護職としての経験年数(全ての職種につき1つ選択)

n=750

	看護師		准看護師		助産師		保健師	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
なし	18	2.4	716	95.4	712	94.9	736	98.1
1-5年	241	32.1	19	2.5	10	1.3	4	0.5
6-10年	127	16.9	2	0.3	4	0.5	6	0.8
11-15年	129	17.2	2	0.3	11	1.5	3	0.4
16-20年	72	9.6	1	0.1	5	0.7	1	0.1
21年以上	163	21.7	10	1.3	8	1.1	0	0

6. 現在の職位

n=750

	看護師		准看護師		助産師		保健師	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
なし	27	3.6	734	97.9	716	95.5	741	98.8
スタッフ	646	86.1	16	2.1	26	3.5	9	1.2
主任	40	5.3			4	0.5		
師長/係長	34	4.5			3	0.4		
部長・副部長/課長	3	0.4			1	0.1		

7. あなたの学歴は

n=750

選択肢	回答数	%
看護専門学校(看護専修学校を含む)	488	65.1
看護系大学(学士課程)	205	27.3
看護系以外の大学(学士課程)	33	4.4
看護系短期大学	32	4.3
看護系大学院(修士課程)	12	1.6
看護系以外の大学院(修士課程)	2	0.3
その他	3	0.4

8. これまでに看護に関して取得した資格は

n=750

選択肢	回答数	%
なし	567	75.6
認定看護管理者(ファーストレベル)	57	7.6
認定看護管理者(セカンドレベル)	21	2.8
認定看護管理者(サードレベル)	3	0.4
実習指導者(実習指導者講習会参加により取得したもの)	116	15.5
認定看護師	30	4.0
その他	65	8.7

上記8で「その他」を選んだ場合、具体的にお答えください。

記述内容
ACLS JNTEC JPTEC
CDE
DMAT,JPTEC
HIV 学会認定看護師
hiv 感染症看護師
INE
LTFU 外来看護師
NST
NST 専門療法士
アドバンス助産師
アレルギー疾患療養指導士
ケアマネージャー
ベビーマッサージ教室講師
リンパ浮腫セラピスト
医療安全管理者
介護福祉士
看護教員
看護教員養成課程修了
肝炎コーディネーター
救命 救急
教員養成コース
健康運動看護師(日本健康運動看護学会)
現場に活かすため
呼吸療法認定士、東京 DMAT
骨粗鬆症マネージャー
今のところ上記のキャリアを積みたいとは考えていないため。
今の仕事で満足しているから

災害支援ナース
三学会呼吸療法士
小児アレルギーエデュケーター(PAE)
小児救急看護認定看護師
消化器内視鏡技師
人間ドックアドバイザー、糖尿病療養指導士
腎臓病療養指導士、腎代替療法専門指導士
腎臓病療養指導士、腎代替療法指導士、PD 認定看護師
腎臓病療養指導師
専門看護師
大学の看護学コースを受講し学位機構にて学位取得
弾性ストッキングコンダクター
東京 DMAT
糖尿病療養指導士
糖尿病療養指導師
透析技術認定士
特定看護師
認定看護管理者
認定治験コーディネーター
皮膚疾患ケア看護師、呼吸療法認定士
不妊症看護認定看護師
保健師
慢性腎不全療養指導看護師
臨時職員
臨職看護師

## II 大学院開設について

### 1. あなたは大学院への進学を希望しますか。

	n=750	
選択肢	回答数	%
東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)への進学を希望する	13	1.7
東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)への進学を優先するが、他大学も検討する	10	1.3
他大学大学院への進学を希望する	14	1.9
大学院への進学を考えていない	544	72.5
わからない	169	22.5

上記1で選択した理由をご記入ください。

記述内容
あまり興味が無い
お金、時間がない
お金の関係
キャリアアップの意思がない
このまま看護師を続ける予定であるため
このまま臨床経験を増やしたいから。
とくになし
どのような進路があるかわからない、今のキャリアに満足している
まず大卒と学位からと考えているため
まだ、わからない
まだわからない
まだ経験が浅いため。
まだ決まっていないため
まだ考えていない
まだ考えられるような段階ではないから
まだ自分の仕事で精一杯だから
まだ将来について考えられていないから
まだ新人であり、今後について詳しく考えることができていない。
まだ新人のため決めてない
もう大学院を卒業してるので
もし学びたいことがあっても、私立大学の学費の高さもあるので国立大学を希望します。
わからない
わからないため
安定した収入が得られれば大きなスキルアップは望んでいない
以前より進学を希望していたため
意欲がない
医療教授システムやインストラクショナルデザインについて学べる専攻があれば進学希望
育児のため
育児中
院での学習希望なし
家族を養わなければならないため。
家庭があり、子育て中のため自身のスキルアップの時間が取れない
家庭があるので、経済的に進学できるかわからないため。
家庭との両立

家庭との両立がむずかしい
家庭との両立が困難
家庭との両立が難しいため
家庭との両立をしていかなければいけないから
家庭と育児があるため無理
家庭と仕事の両立が必要なため
家庭と両立が困難
家庭の事情
家庭もあるため両立出来るか検討が必要
家庭環境的に無理なため
家庭優先のため
過去に海外で大学院進学を考えていたことがあるが、今は現実的ではない。
介護もあり、勉強に当てられる時間を作るのは難しい
学びたいコースがない
学びたいことがわからない
学びたいことはないから
学びたい気持ちはあるが、具体的に何を追求したいのか自分の中で曖昧。また、時期についても検討したいため踏ん切りがつかない。
学びたい気持ちはあるが仕事、家庭、学費などで積極的に進学…とはなれない状況。
学びたい分野があり支援が充実していれば進学したい。
学びたい分野が現時点ではないため
学位がない。家庭との両立が難しい。
学位を持っていないから。
学習意欲ない
学費と生活費を考えると厳しい
学費問題
看護管理について専門性を高めたい
看護管理を学びたい
看護管理学の分野がないので
看護研究には興味があるが、勉強についていく自信がない
看護研究より看護ケアの実践をしたいから
看護師として働いていたいから
看護師として働きたいから。
看護師として働くため
看護師として臨床で働きたいから
関係ないから
関心がないため
関心が無いため

希望がないから
希望したい気持ちと年齢との兼ね合い
希望しない
希望しないため
希望なし
給料が安い
教育研究者になることは考えてない
教授の専攻内容や図書館の利用時間や書籍数、自宅からの距離等が検討内容となるため
興味がありません。
興味があることがないから
興味があるため
興味がない
興味がないから
興味がないため
興味が無いです。
興味ない
興味ないから
興味はあるが、具体的に考えているわけではない。
業務が多忙、金銭的余裕がない
勤務に従事しながら学べるため
金銭的、時間的余裕がない為
金銭的なもの。
金銭的な問題
金銭的に年齢的に
金銭的余裕がない
金銭的理由
金銭面も理由にあるが、それ以上にやるなら看護にかかわる資格をとりたいため
経験をつみたい
経済的、時間的に難しい
経済的、体力的、精神的にも進学を考える余裕はありません。
経済的に困難
経済的に余裕がないため
経済的理由
検討していない
研究したいことが今のところみつからない
現行で十分だと思っています
現在、学び直しは考えていないため
現在のキャリアに満足しているため
現在の仕事を頑張りたい

現在の資格で今後も働いていくため
現在の職種で満足しているため
現在は看護師として臨床経験を積んでいきたいと考えているため。
現在子育て中で無理なため
現在子育て中のため
現在実施している仕事をもっと完璧にこなしたいため
現時点でないため
現時点ではまだ実務経験2年目であるため上位資格取得のための進学を考えていないため
現時点では考えていないが、全くないわけではない。
現時点では進学を考えていないため
現時点で大学院で学びたいことがないため。
現場だけでいっぱい、いっぱいです。
現場で働いていたいから
現状でいっぱい、いっぱいだから
現状では進学希望無し
現状でよいから
現状で精一杯のため。
現状で必要性を感じないため
現状で満足している
現状で満足している。これ以上知識やスキルを学んでも現場で効果的に活かせる状況にない。給与があがる訳ではないため。
現状で良いから。
現状維持希望
現状満足しています
現職を継続しながら、がん専門看護師を目指したい 向上心がないから。
更なる勉学を必要と感じない
考えたことがない
考えていかなかった
考えていない
考えていないから
考えていません
行かないため。
行きたくないからです。
行こうと思わないから
今で満足しているから
今のところで満足している
今のところは臨床で働き続けたいから

今のところわからない
今のままで良い
今のレベルでも精一杯なので
今の環境で満足しているから
今の業務には不要だから
今の業務に精一杯で資格とかについてはまだ考えていないため
今の所極めたい分野がないため
今の状況で受けられる教育で満足しているため
今はまだ看護師のスキルを身につけたい
今はライフプランとして、子供を考えていきたいから
今は興味はない
今は現場に慣れるので精一杯
今は考えていない
今は考えてないため。
今は仕事に集中したいため。
今は視野にない
今は特に考えていないが、どうなるかわからないから。
今は臨床での経験を積みたいため。将来的には進学も考えるかもしれません。
今以上の専門的学びをしようと考えていない
今現在は考えられていない
今後、取りたい資格などできた時に考えたい。
今後のキャリアとして大学院進学も一つの選択肢として考えているが、どうするか悩んでいるところである。
今後のキャリアプラン形成の際に想定していない
今後のキャリアを考えた時に何が起こるかわからない
今後の方向性が定まっていないため
今後の方向性について考えてないから。
今後進学を視野に入れていない
今後大学院に行きたいと考えてはいるが、看護学研究の内容により、進学先は検討したい。
歳と能力の問題があるため。
三年で定年退職の為、現職を心して実践するのみです。
仕事が多忙なため
仕事で忙しい
仕事や家庭との両立が難しい。経済的に厳しい。
仕事を辞める予定がないため
子どもがいて自分の学びに時間とお金をかけられない
子どもの進学にお金をとっておきたいから、自分の進学はかんがえていない

子育てしているため家庭、育児との両立困難
子育てに専念したいため
子育て中
子育て中のため
子育て中のため、まだわからない
子供の学費が優先
子供もいるため、時間、経済的にむずかしい
子供達の面倒で時間、経済的余裕がない
資格を取りたいという思いがある
時間がない
時間がないため
時間が作れないため
時間の確保ができなかったため
自主自学の精神の自分の職場に誇りを持っているので、そこで更に自分のキャリアを積めるのならばぜひ進学したいです。
自身のキャリア希望上、現在必要性を感じていない。
取得したいものが無いから
取得したい免許について考えてないため
修士課程は終了しており、博士課程に進むほどの体力はない
修士課程を3月に修了予定で博士課程にそのまま進むため。
修士卒 専門看護師
将来的にスキルアップしたいとは考えているが具体的なことは明確になっていないため
将来的には研究もしたいと考えているが、未定のため。
職場の近くに公共交通機関で通える大学院がない
深めたい
進学したいが、専門学校卒で進学できるか分からないため
進学したいが育児両立ができるのかと収入が途絶えるのが困る
進学したいと思ったことがない
進学したい気持ちはあるが具体的には固まっていない
進学できるお金も時間もない
進学に興味がない
進学は考えていない
進学は考えていないため
進学は視野にあるが、具体的には決めていない
進学をしたい気持ちもあるが妊娠出産も控えている。
進学を考える余裕がまだないため。
生活があるので難しい

専門卒から大学院を目指すに当たって、ハードルが高いのではないか、可能なのか不安
卒業した大学の大学院への進学を希望するため
他にやるべき事がある
他の経験を得たい
他大学出身であるため
体力的に無理
大学院での学習を考えていないため
大学院で学びたいが、手放しでは行けないため、行くまでの環境を整えなければならない
大学院で学びたいことがないから
大学院で研究したいことが思いつかないため。学費が高額であるため。働いて生活費を賄う必要があるため退職して進学する選択肢がないため。
大学院で勉強する目的が今はないから
大学院には行きたいと思っているが不安もある
大学院に行くまでの興味がない
大学院に行こうと考えていないため
大学院への進学はいいなと思うが現状的に大学院に通える能力と体力がないため。
大学出てないから。
大学卒ではないため。
大学卒業していないため
大卒でないから
大卒ではないから
大卒ではないため
大卒の資格がないため
大卒資格もないため
直属であるため進学したいが、手術看護がないため。
追及したい領域や分野が定まっていない点、学費や生計面などで不安がある点。
通いやすい
通う理由がないから
通学が便利のため
定年が近いから
定年に近く、現在の役割を担うのに精一杯。
定年退職のため
定年退職をまもなく迎えるため。
働いてるから
働きたいから
特にやりたい分野が今のところない。

特に希望しないため
特に希望なし
特に興味ない
特に興味ないので
特に興味のある分野がない
特に考えていない
日々の生活で手一杯。
乳幼児を育てているため
認定看護師になりたいため
年令的に違う選択肢があります。
年齢
年齢、経済的
年齢、時間
年齢が 40 代のため
年齢から
年齢と金銭的な問題があるため
年齢の問題
年齢もあるしそれ程勉強が好きではないから
年齢を考えたため
年齢を考慮して
年齢及び今後の生き方
年齢的、家庭的に難しい
年齢的これから学ぶことを考えていない。
年齢的なこと
年齢的なこともあるため、今は考えられない
年齢的な問題
年齢的に
年齢的に、厳しいかと。
年齢的にもうえかなと。
年齢的に難しい
年齢的に難しいため
年齢的に難しいです
年齢的に無理
能力的に難しいため
派遣のため
博士課程の取得もしくは専門看護師の取得
博士号を取りたいから。
費用がかかる
必要があれば大学院に行くと思う
必要性を感じない

病棟で働いていたため。
幅広く検討したため
分からないから
分からないため
勉強して知識を深めたい気持ちもあるが、お給料がなくなるのは生活上困るため
本院では勤務1年目のためそこまで考えられない
毎日の仕事で精一杯のため
未定だから
目標がそこにないため
目標が現段階で明確にないため
余裕がない
養護教諭も興味あるが、今の仕事も楽しいため。
来年度主任業務を遂行するため。
理由はありません、
理由はありません。
臨床での経験を積みたいため
臨床で働きたいため
臨床で働くことにやりがいを感じているため。
臨床経験が浅い為

### III 東京医科大学大学院看護学研究科への受験について

1. 東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)を受験したいと思いますか。

n=207

選択肢	回答数	%
第一志望として受験する	35	17.4
第二志望として受験する	11	5.3
第三志望として受験する	1	0.5
受験しない	159	76.8

2. 東京医科大学大学院看護学看護学研究科(修士課程)(仮称)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。

n=207

選択肢	回答数	%
入学する	56	27.1
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	20	9.7
入学しない	131	63.3

3. 東京医科大学大学院看護学看護学研究科(修士課程)(仮称)を受験して合格した場合、入学を希望する時期をお答えください。

n=207

選択肢	回答数	%
2025年4月	16	12.6
2026年4月	16	12.6
2027年4月以降	95	74.8

#### IV 大学院進学を希望する方へ

1. 大学院進学を希望する領域についてお答えください(複数回答可)

n=207

選択肢	回答数	%
基礎看護学(基礎看護学領域)	23	11.1
がん看護学(療養支援看護学領域)	29	14
精神看護学(療養支援看護学領域)	13	6.3
こども看護学(こども・女性看護学領域)	17	8.2
ウィメンズヘルス看護学(こども・女性看護学領域)	12	5.8
公衆衛生看護学領域(広域看護学領域)	14	6.8
国際看護学(広域看護学領域)	12	5.8
特に決めていない	138	66.7

2. 大学院進学において重視することをお答えください

n=449

選択肢	回答数	%
カリキュラム内容	255	56.8
入試科目が受けやすい	156	34.7
通いやすい	278	61.9
指導を受けた教員がいる	108	24.1
卒業大学であること	29	6.5
学費	282	62.8
その他	29	6.5

上記3で「その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

記述内容
家庭があるため
看護管理学が出来るといい。
現実的に通えるかどうか
進学希望する気がない
図書館から利用しやすさ(時間や書籍数)
退職だから

3. 大学院進学に際して受けたい支援・制度についてお答えください(複数選択可)

n=449

選択肢	回答数	%
社会人入試制度	270	60.1
長期履修制度(入学から終了までの期間を長期に設定して履修する制度。例:2年の修士課程を3-4年で修了する等)	118	26.3
土日の開講	143	31.8
夜間の開講	131	29.2
勤務時間の考慮	274	61
休職制度	220	49
大学院入学資格審査	63	14
その他	26	5.8

上記3で「その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

記述内容
家庭との両立
休職し進学した場合でも病院(八王子医療センター)に戻らず研究の道が続けられる制度が欲しいです。
給付型の奨学金を希望します。
現在の忙しさと両立が出来ないから
退職だから

V 大学院進学を希望しない方へ

大学院を希望しない人にお尋ねします。希望しない理由をお答えください(複数回答可)

n=713

記述内容	回答数	%
仕事との両立ができない	312	43.8
経済的理由	205	28.8
体力がない	167	23.4
家庭との両立ができない	223	31.3
入学試験の準備ができていない	85	11.9
今の卒後教育で十分	73	10.2
必要性がわからない	123	17.3
その他	6	0.8

上記で「その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

記述内容
もう既に卒業してるので
学習についていけない
学力がない。
学力が足りない
関係がないから
既卒
興味が湧かない
興味のあるものをまだ見つけてないから
現在、学び直しを考えていないため
現在の教育で十分なため
現状で精一杯で大学院進学までは考えられないため。
考えたこともないため
自分としては必要ないと言うこと。院で更に看護学を学ぶこと自体は良いことと思う。
修士課程修了しているため、博士課程進学を考えている
前質問でお答えしてます。
他にやりたいことがあるため
大学院の講義についていけるIQがない
大卒ではないため
定年退職を迎え、看護職の仕事をするかわからないため。学ぶのであれば、語学や外国人のマネジメント・法令などを学びたい。外国人労働者が今後増えると思われるため。
年齢
年齢の問題
年齢もあるしそれ程勉強が好きではないから
年齢及び今後の生き方
目標がそこにある

#### VI 大学院設置に向けての希望等

大学院設置に向けてのご希望、ご意見を自由にご記入ください。

記述内容
いいことだと思います
クリティカルケア看護の分野があり、支援が充実していれば是非進学したいです。
さらに看護の可能性を高めることができるようになれば大学院はあることが望ましいと思います。

【資料 4-2】 東京医科大学大学院看護学研究科 設置ニーズ調査  
卒業生対象 集計結果

## I 対象者の属性

## 1. 性別

n=50

選択肢	回答数	%
女性	49	98.0
男性	1	2.0

## 2. 年齢

n=50

選択肢	回答数	%
20 歳代	48	96.0
30 歳代	2	2.0

## 3. 現在の就業状況

n=50

選択肢	回答数	%
就業していない	4	8.0
正規職員として就業中(育休・病休など休業中を含む)	45	90.0
非正規職員として就業中(育休・病休など休業中を含む)	1	1.0

## 4. 就業している場合、現在の勤務先

n=50

選択肢	回答数	%
病院・診療所	31	67.4
行政機関	10	21.7
訪問看護ステーション	2	4.3
民間企業	2	4.3
その他	1	2.2

## 5. 保有している看護職資格(複数回答可)

n=50

選択肢	回答数	%
看護師	49	98.0
助産師	3	6.0
保健師	19	38.0

6. 看護職としての経験年数(全ての職種につき1つ選択)

	看護師		助産師		保健師	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1-2年	26	52.0	3	6	6	12.0
3-4年	8	16.0			5	10.0
5年以上	2	4.0				
なし	14	28.0	47	94	39	78

7. 現在の職位(全ての職種につき一つ選択)

	看護師		助産師		保健師	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
スタッフ	35	70.0	3	6.0	12	24.0
なし	15	30.0	47	94.0	38	76.0

8. 本学卒業後の学歴

選択肢	n=50	
	回答数	%
看護系大学院(修士課程)	2	4.0
なし	48	96.0

9. これまでに看護に関して取得した資格は(例:実習指導者など)

記述内容	n=4	
	回答数	%
NCPR、受胎調節指導員	1	20.0
なし	3	60.0
助産師 NCPRA コース	1	20.0

II 大学院開設について

1. あなたは大学院への進学を希望しますか。

選択肢	n=50	
	回答数	%
東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)への進学を希望する	1	2.0
東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)への進学を優先するが、他大学も検討する	5	10.0
他大学大学院への進学を希望する	2	4.0
大学院への進学を考えていない	25	50.0
わからない	17	34.0

上記1で選択した理由をご記入ください。

記述内容
どの分野を専攻したいかによってどの大学院に進学したいか決めたい
まだ看護師1年目であるため、大学院のことは考えられていない。
まだ目の前の仕事のことしか考えられない。
学びたい分野がない
学費やカリキュラムを比較した上で考えたい
看護を今離れてしまっているから
看護研究に興味がない。
既に進学したから
研究したい分野が専門分野になるため、他大学大学院の進学も検討したいと考えているから。
現時点では大学院で学びたいことがない。
現時点で看護研究への興味が湧いていない。臨床経験を積みたいという気持ち強い。
現段階では特に必要性を感じていないため。
今は経験を積むことに重きを置いているから
今は臨床でキャリアを積みたいため
今後どのような資格を得たいか、経験とライフステージを見ながら検討したいため。
仕事が忙しくて精一杯
自身のやりたいことがある程度決まっておりそれに大学院の進学が必要ないため
職場で覚えることが多い段階で学びを深めたいと思う段階に至っていない
職場の推薦で指定された大学院に進学することを検討している
進学への興味がない
進学時期は現時点で未定だが、保健師として行政機関の視点で現場を見て、感じた課題を研究したい。
専門性を追求したいことが今の段階ではないため。
大学4年時に大学院が併設されていれば進学を希望したかもしれないが、今は病棟の仕事が完璧にできるわけではないので今の仕事をしっかりこなせるようになってから考えたい
大学院に興味はあるが、具体的には考えられていないため。
臨床経験を積んだ後行けたら行きたいと考えていますが、自分が今後研究したい内容や分野で深めるにあたってどのような環境が良いかは再度検討する必要があると感じているた

め、現在のところではどこの大学院が良いのか、はたまた大学院進学自体が自分にとって必要か等も考えていきたい段階です。

### III 東京医科大学大学院看護学研究科への受験について

#### 1. 東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)を受験したいと思いますか。

n=6

選択肢	回答数	%
第一志望として受験する	5	83.3
第三志望として受験する	1	16.7

#### 2. 東京医科大学大学院看護学看護学研究科(修士課程)(仮称)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。

n=6

選択肢	回答数	%
入学する	5	83.3
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1	16.7

#### 3. 東京医科大学大学院看護学看護学研究科(修士課程)(仮称)を受験して合格した場合、入学を希望する時期をお答えください。

n=6

選択肢	回答数	%
2025年4月	1	16.7
2026年4月	1	16.7
2027年4月以降	4	66.7

### IV 大学院進学を希望する方へ

#### 1. 大学院進学を希望する領域についてお答えください(複数回答可)

n=8

選択肢	回答数	%
基礎看護学(基礎看護学領域)	1	12.5
がん看護学(療養支援看護学領域)	1	12.5
精神看護学(療養支援看護学領域)	1	12.5
こども看護学(こども・女性看護学領域)	1	12.5
ウイメンズヘルス看護学(こども・女性看護学領域)	2	25.0
公衆衛生看護学領域(広域看護学領域)	2	25.0
国際看護学(広域看護学領域)	1	12.5
特に決めていない	3	37.5

#### 2. 大学院進学において重視することをお答えください(複数回答可)

n=8

選択肢	回答数	%
カリキュラム内容	8	100.0
入試科目が受けやすい	3	37.5
通いやすい	6	75.0
指導を受けた教員がいる	3	37.5
卒業大学であること	1	12.5
学費	6	75.0
その他	0	0.0

3. 大学院進学に際して受けたい支援・制度についてお答えください(複数選択可)

n=8

選択肢	回答数	%
社会人入試制度	6	75.0
長期履修制度(入学から終了までの期間を長期に設定して履修する制度。例:2年の修士課程を3-4年で修了する等)	2	25.0
土日の開講	1	12.5
夜間の開講	2	25.0
勤務時間の考慮	6	75.0
休職制度	4	50.0
大学院入学資格審査	2	25.0
その他	1	12.5

上記3で「その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

記述内容
奨学金

V 大学院進学を希望しない方へ

1. 大学院を希望しない人にお尋ねします。希望しない理由をお答えください(複数回答可)

n=42

記述内容	回答数	%
仕事との両立ができない	31	73.8
経済的理由	20	47.6
体力がない	4	9.5
家庭との両立ができない	5	11.9
入学試験の準備ができていない	7	16.7
今の卒後教育で十分	10	23.8
必要性がわからない	10	23.8
その他	8	19.0

上記1で、「その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

記述内容
まだ院で学ぶほどの目的がないため
希望しないわけではなく分からない
現状、仕事で覚えることが多く、何をもっと学びたい、という段階に至ってない
他に取れる資格や研修を頑張りたいから
大学院へ進学を希望している

#### VI 大学院設置に向けての希望等

大学院設置に向けてのご希望、ご意見を自由にご記入ください。

記述内容
ぜひ設置して欲しい
まだ院への進学は希望していませんが、卒業生として母校に学びの場が設けられることは嬉しく思います。
学ぶ場が増えることは良いことだと思う。
質の高い教育が提供されることを期待している
助産師になりたいです
助産師免許の取得ができるようにしてほしい。
大学病院があるので、助産師も取れるようになってほしい

【資料 4-3】 東京医科大学大学院看護学研究科 設置ニーズ調査  
在校生対象 集計結果

1. 学年

n=188

選択肢	回答数	%
1 年	37	19.7
2 年	42	22.3
3 年	65	34.6
4 年	44	23.4

2. 性別

n=188

選択肢	回答数	%
女性	180	95.7
男性	8	4.3

3. 卒業後の進路をどのように考えていますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

n=188

選択肢	回答数	%
①大学院進学	43	22.9
②就職	171	91.0
③その他	10	5.3

4. 設問 3 で、①を選択した方に質問です。卒業後は、どの時点で進学したいと考えますか？

n=55

選択肢	回答数	%
①卒業直後	39	70.9
②卒業から 1～2 年	1	1.8
③卒業から 3～4 年	8	14.6
④卒業から 5 年以上後	5	9.1
現時点で予定なし	1	1.8
進学しなくなった場合のみ	1	1.8

5. 設問 3 で、①を選択した方に質問です。志望したい大学院は、どれに該当しますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

n=47

選択肢	回答数	%
①国立	37	78.7
②公立	30	63.8
③私立	36	76.6

6. 設問 3 で、①を選択した方に質問です。大学院で学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。あてはまるものすべてをチェックしてください。

n=47

選択肢	回答数	%
①看護系大学院	43	91.5
②看護系以外の)医学系大学院	17	36.2
③その他の大学院	5	10.6

7. 東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)が開設された場合、受験を希望しますか。次より一つ選んでください。

n=188

選択肢	回答数	%
第一志望として受験する	36	19.1
第二志望として受験する	12	6.4
第三志望として受験する	9	4.8
受験しない	131	69.7

8. 設問 7 で①～③を選択した方に質問です。東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選んでください。

n=83

選択肢	回答数	%
入学する	36	43.4
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	25	30.1
入学しない	22	26.5

9. 設問 6 で①②を選択した方に質問です。希望する分野(領域)についてお答えください。あてはまるものすべてをチェックしてください。

選択肢	回答数	%
①基礎看護学分野(基盤看護学領域)	16	23.9
②がん看護学分野(療養支援看護学領域)	18	26.9
③精神看護学分野(療養支援看護学領域)	18	26.9
④こども看護学分野(こども・女性看護学領域)	27	40.3
⑤ウイメンズヘルス看護学分野(こども・女性看護学領域)	25	37.3
⑥公衆衛生看護学分野(広域看護学領域)	14	20.9
⑦国際看護学分野(広域看護学領域)	17	25.4
⑧その他	20	29.9

2024年1月吉日

所属長様

東京医科大学医学部看護学科  
学科長 阿部 幸恵**大学院開設に関する看護職の皆様へのニーズ調査 ご協力をお願い**

平素より、看護学科の教育に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学は、高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材、および将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材を養成するため大学院（看護学研究科・修士課程）の設置を考えております。詳細は資料1をご参照ください。

つきましては、本学の大学院開設にあたり、貴施設の看護職の皆様へ、本学大学院への進学の希望について伺うため、アンケート（QRコードを付した用紙）を該当部署で回覧もしくは該当者にお渡しいただきますようお願い申し上げます。

アンケートは無記名で行い、本学大学院の開設に関する資料としてのみ活用させていただきます。回答に要する時間は5分程度です。

アンケートはQRコードを用いて読み取る方法を用いております。2024年1月31日（水）までにご協力賜りますようお願い申し上げます。

お手数をおかけして誠に申し訳ございませんが、ご協力の程、何卒よろしくようお願い申し上げます。

<問い合わせ先>

看護学科 大学院設置準備委員会 平井和恵

Email : k-hirai@tokyo-med.ac.jp

電話 : (直通) 03-5357-7304

2024年1月吉日

看護職各位

東京医科大学医学部看護学科  
学科長 阿部 幸恵

## 東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)設置ニーズ調査へのご協力をお願い

本学は、高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材、および将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材を養成するため大学院（看護学研究科・修士課程）の設置を考えております。詳細は資料1をご参照ください。

つきましては、大学院開設やご自身の進学に関するご希望、ご意見をいただきたくアンケートへのご協力をお願い申し上げます。アンケートは無記名で行い、本学大学院の開設に関する資料としてのみ活用させていただきます。回答に要する時間は5分程度です。

下記のQRコードまたはURLから、2024年1月31日(水)までにご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

URL

<https://forms.gle/JYyyZPxUJJjZ6BA88>

QRコード



<問い合わせ先>

看護学科 大学院設置準備委員会 平井和恵

Email : k-hirai@tokyo-med.ac.jp

電話 : (直通) 03-5357-7304

2024年1月吉日

東京医科大学医学部看護学科卒業生の皆様

東京医科大学医学部看護学科  
学科長 阿部 幸恵

### 東京医科大学大学院看護学研究科設置ニーズ調査へのご協力をお願い

卒業生の皆様、卒後、いかがお過ごしでしょうか？

本学は、高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材、および将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材を養成するため大学院（看護学研究科・修士課程）の設置を考えております。詳細は資料1をご参照ください。

つきましては、大学院開設やご自身の進学に関するご希望、ご意見をいただきたくアンケートへのご協力をお願いいたします。アンケートは無記名で行い、本学大学院の開設に関する資料としてのみ活用させていただきます。回答に要する時間は5分程度です。

皆様の今後の進路の一つとしても是非、ご検討、ご協力いただけますと幸いです。

下記のQRコードまたはURLから、2024年1月31日（水）までにご協力賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、皆様のますますのご活躍をご祈念申し上げます。

URL

<https://forms.gle/GNPNxrZSDSszveuaf8>

QRコード



<問い合わせ先>

看護学科 大学院設置準備委員会 平井和恵

Email : k-hirai@tokyo-med.ac.jp

電話 : (直通) 03-5357-7304

【資料 5-3】大学院開設に関するニーズ調査 協力依頼 在校生対象

2024 年 4 月吉日

在校生の皆様

東京医科大学医学部看護学科

学科長 阿部 幸恵

東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)設置ニーズ調査へのご協力をお願い

本学は、高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材、および将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材を養成するため大学院（看護学研究科・修士課程）の設置を考えております。詳細は資料 1 をご参照ください。

つきましては、大学院開設やご自身の進学に関するご希望、ご意見をいただきたくアンケートへのご協力をお願いいたします。アンケートは無記名で行い、本学大学院の開設に関する資料としてのみ活用させていただきます。回答に要する時間は 5 分程度です。

下記の QR コードまたは URL から、2024 年 4 月 30 日 (火) までにご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

URL

<https://forms.gle/391ZAKiDj7yQkT4GA>

QR コード



<問い合わせ先>

看護学科 大学院設置準備委員会 平井和恵

Email : k-hirai@tokyo-med.ac.jp

電話 : (直通) 03-5357-7304

東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）の概要

**名称**

東京医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 修士課程

**設置の理念**

高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材、および将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材を養成するため大学院（看護学研究科・修士課程）を設置する。

**養成する人材像**

- ・ 高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材
- ・ 将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材

**アドミッション・ポリシー**

- (1) 看護職として生涯に渡り自ら学び続ける意欲を有する人
- (2) 看護学の専門領域における知識・実践力を有する人
- (3) 研究に関する基礎的知識を有し、論理的思考のできる人
- (4) 幅広い視野で事象を捉える力と教養を有する人
- (5) 将来、看護実践者、研究者、教育者として看護の質向上への貢献を目指す人

**設置場所**

〒160-8402 東京都新宿区新宿 6-1-1 東京医科大学 <https://www.tokyo-med.ac.jp/access/>  
 アクセス 丸ノ内線「新宿御苑駅」より徒歩 7 分、  
 副都心線、都営新宿線「新宿三丁目駅」より徒歩 10 分  
 JR 線、小田急線、京王線、西武新宿線「新宿駅」より徒歩 20 分

**研究科の構成**

領域構成		教育課程	
領域名	分野名	研究コース	高度実践看護師コース
基盤看護学	基礎看護学	○	
療養支援看護学	がん看護学	○	○
	精神看護学	○	○
こども・女性看護学	こども看護学	○	○
	ウイメンズヘルス看護学	○	
広域看護学	公衆衛生看護学	○	
	国際看護学	○	

**学生納付金（予定）**

入学金：30万円、授業料：100万円、合計130万円（施設整備費を含む。）

\*高度実践看護師コースは別途、実習費：10万円（年額）

**近隣私立看護系大学院（修士課程）の状況**

\*2023年9月現在

大学院	入学定員	学生納付金（初年度）
北里大学大学院看護学研究科	15	830,000円（看護学研究コース） 950,000円（高度実践看護学コース）
順天堂大学大学院医療看護学研究科	29	825,000円
聖路加国際大学大学院	32	1,350,000円（修士論文コース） 1,500,000円（高度実践看護学コース）
帝京大学大学院医療技術学研究科看護学専攻	10	1,040,400円（自大学出身） 1,142,400円（他大学出身）
東京医療保健大学大学院保健学研究科	25	1,584,500円（プライマリ看護学領域・ 助産師コース以外） 1,634,500円（プライマリ看護学領域のみ）
東京慈恵医科大学大学院医学系研究科看護学専攻	10	1,000,000円
東京女子医科大学大学院看護学研究科	16	1,400,000円（自大学出身） 1,500,000円（他大学出身）
東邦大学大学院看護学研究科	15	1,100,000円（CNSコース、実践助産学課程、 高度実践公衆衛生看護学課程履修者） 900,000円（CNSコース、実践助産学課程、 高度実践公衆衛生看護学課程履修者以外）
日本赤十字看護大学大学院看護学研究科	32	1,904,500円
武蔵野大学大学院看護系研究科	10	1,372,000円

上記の計画は予定であり、変更の可能性があります。

## 東京医科大学大学院看護学研究科 設置 ニーズ調査（看護職向け）

本学は、高度な専門的知識・技術に基づく看護実践能力を備えた人材、看護学の基礎的教育研究の能力を備えた人材、その他共通基盤として生涯に渡り自ら学び続ける力を備えた人材を養成するために、大学院（看護学研究科・修士課程）の設置を考えております。つきましては、大学院開設やご自身の進学に関するご希望、ご意見をいただきたくアンケートへのご協力をお願いいたします。回答に要する時間は5分程度で、本アンケートの結果は大学院開設の準備に活用させていただきます。下記のQRコードを読み取り、2024年1月31日（水）までにご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

●●●●●●●●mail.com アカウントを切り替える



\* 必須の質問です

メールアドレス \*

●●●●●●●●@yahoo.co.jp

### I あなた自身について

1. あなたのご所属は \*

- 医療機関
- 行政機関
- 訪問看護ステーション
- その他

2. あなたの性別は \*

- 男性
- 女性

3. あなたの年齢は \*

- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60歳以上

4. 保有している看護職資格は（複数回答可）\*

- 看護師
- 助産師
- 保健師
- 准看護師

5. 看護職としての経験年数は(全ての職種につき1つ選択) \*スマホの場合は右端の選択肢まで見えていない場合があるので、画面を動かしてご確認ください。

	なし	1-5年	6-10年	11-15年	16-20年	21年以上
看護師	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
助産師	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保健師	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
准看護師	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

6. 現在の職位は（全ての職種につき一つ選択） \*スマホの場合は右端の選択肢まで見えていない場合があるので、画面を動かしてご確認ください。

	なし	スタッフ	主任	師長/係長	部長・副部長/課長
看護師	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
助産師	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保健師	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
准看護師	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

7. あなたの学歴は(複数回答可) \*

- 看護専門学校(看護専修学校を含む)
- 看護系短期大学
- 看護系大学(学士課程)
- 看護系以外の大学(学士課程)
- 看護系大学院(修士課程)
- 看護系大学院(博士課程)
- 看護系以外の大学院(修士課程)
- 看護系以外の大学院(博士課程)
- その他

8. これまでに看護に関して取得した資格は(複数選択可) \*

- 認定看護管理者(ファーストレベル)
- 認定看護管理者(セカンドレベル)
- 認定看護管理者(サードレベル)
- 実習指導者(実習指導者講習会参加により取得したものを指す)
- 認定看護師
- その他
- なし

上記8で「その他」を選んだ場合、具体的にお答えください。

回答を入力

## II 大学院開設について

1. あなたは大学院への進学を希望しますか。 \*

- 東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)への進学を希望する
- 東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)への進学を優先するが、他大学も検討する
- 他大学大学院への進学を希望する
- 大学院への進学を考えていない
- わからない

上記1で選択した理由をご記入ください。

回答を入力

### III 東京医科大学大学院看護学研究科への受験について

1. 東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）を受験したいと思いますか。\*

- 第一志望として受験する
- 第二志望として受験する
- 第三志望として受験する
- 受験しない

2. 東京医科大学大学院看護学看護学研究科（修士課程）（仮称）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。\*

- 入学する
- 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- 入学しない

3. 東京医科大学大学院看護学看護学研究科（修士課程）（仮称）を受験して合格した場合、入学を希望する時期をお答えください。

- 2025年4月
- 2026年4月
- 2027年4月以降

選択を解除

#### IV 大学院進学を希望する方へ

1. 大学院進学を希望する領域についてお答えください（複数回答可）\*

- 基礎看護学（基礎看護学領域）
- がん看護学（療養支援看護学領域）
- 精神看護学（療養支援看護学領域）
- こども看護学（こども・女性看護学領域）
- ウィメンズヘルス看護学（こども・女性看護学領域）
- 公衆衛生看護学（広域看護学領域）
- 国際看護学（広域看護学領域）
- 特に決めていない

2. 大学院進学において重視することをお答えください（複数回答可）\*

- カリキュラム内容
- 入試科目が受けやすい
- 通いやすい
- 指導を受けたい教員がいる
- 卒業大学であること
- 学費
- その他

上記3で「その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

回答を入力

3. 大学院進学に際して受けたい支援・制度についてお答えください（複数選択\*可）

- 社会人入試制度
- 長期履修制度（入学から終了までの期間を長期に設定して履修する制度。例：2年の修士課程を3-4年で修了する等）
- 土日の開講
- 夜間の開講
- 勤務時間の考慮
- 休職制度
- 大学院入学資格審査
- その他

上記3で「その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

回答を入力

## VI 大学院設置に向けての希望等

大学院設置に向けてのご希望、ご意見を自由にご記入ください。

回答を入力

---

## 東京医科大学大学院看護学研究科 設置 ニーズ調査（卒業生向け）

本学は、高度な専門的知識・技術に基づく看護実践能力を備えた人材、看護学の基礎的教育研究の能力を備えた人材、その他共通基盤として生涯に渡り自ら学び続ける力を備えた人材を養成するために、大学院（看護学研究科・修士課程）の設置を考えております。つきましては、大学院開設やご自身の進学に関するご希望、ご意見をいただきたくアンケートへのご協力をお願いいたします。回答に要する時間は5分程度で、本アンケートの結果は大学院開設の準備に活用させていただきます。下記のQRコードを読み取り、2024年1月31日（水）までにご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



\* 必須の質問です

メールアドレス \*

●●●●●●●●@yahoo.co.jp

### I あなた自身について

1. あなたの性別は \*

- 男性  
 女性

2. あなたの年齢は \*

- 20歳代  
 30歳代  
 40歳代

3. 現在の就業状況は

- 正規職員として就業中（育休・病休など休業中を含む）  
 非正規職員として就業中（育休・病休など休業中を含む）  
 就業していない（→問5にお進みください）

選択を解除

4. 現在、就業している方は、現在の勤務先について教えてください。

- 病院・診療所  
 行政機関  
 訪問看護ステーション  
 民間企業  
 その他

選択を解除

6. 看護職としての経験年数は(全ての職種につき1つ選択) \*スマホの場合は右端の選択肢まで見えていない場合があるので、画面を動かしてご確認ください。

	なし	1-2年	3-4年	5年以上
看護師	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
助産師	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保健師	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

7. 現在の職位は(全ての職種につき一つ選択) \*スマホの場合は右端の選択肢まで見えていない場合があるので、画面を動かしてご確認ください。

	なし	スタッフ	主任級	師長・係長級
看護師	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
助産師	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保健師	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

8. 本学卒業後の学歴は(全ての行につき一つ選択) \*スマホの場合は右端の選択肢まで見えていない場合があるので、画面を動かしてご確認ください。

	なし	在学中	修了
看護系大学院(修士課程)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
看護系大学院(博士課程)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
看護系以外の大学院(修士課程)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
看護系以外の大学院(博士課程)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

9. これまでに看護に関して取得した資格は(例:実習指導者など)

回答を入力 \_\_\_\_\_

## Ⅱ 大学院開設について

1. あなたは大学院への進学を希望しますか。\*

- 東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）への進学を希望する
- 東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）への進学を優先するが、他大学も検討する
- 他大学大学院への進学を希望する
- 大学院への進学を考えていない
- わからない

上記1で選択した理由をご記入ください。

回答を入力

## Ⅲ 東京医科大学大学院看護学研究科への受験について

1. 東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）を受験したいと思いますか。\*

- 第一志望として受験する
- 第二志望として受験する
- 第三志望として受験する
- 受験しない

2. 東京医科大学大学院看護学看護学研究科（修士課程）（仮称）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。\*

- 入学する
- 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- 入学しない

3. 東京医科大学大学院看護学看護学研究科（修士課程）（仮称）を受験して合格した場合、入学を希望する時期をお答えください。

- 2025年4月
- 2026年4月
- 2027年4月以降

選択を解除

#### IV 大学院進学を希望する方へ

1. 大学院進学を希望する領域についてお答えください（複数回答可）\*

- 基礎看護学（基礎看護学領域）
- がん看護学（療養支援看護学領域）
- 精神看護学（療養支援看護学領域）
- こども看護学（こども・女性看護学領域）
- ウィメンズヘルス看護学（こども・女性看護学領域）
- 公衆衛生看護学（広域看護学領域）
- 国際看護学（広域看護学領域）
- 特に決めていない

2. 大学院進学において重視することをお答えください（複数回答可）\*

- カリキュラム内容
- 入試科目が受けやすい
- 通いやすい
- 指導を受けたい教員がいる
- 卒業大学であること
- 学費
- その他

上記2で「その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

回答を入力

3. 大学院進学に際して受けたい支援・制度についてお答えください（複数選択\*可）

- 社会人入試制度
- 長期履修制度（入学から終了までの期間を長期に設定して履修する制度。例：2年の修士課程を3-4年で修了する等）
- 土日の開講
- 夜間の開講
- 勤務時間の考慮
- 休職制度
- 大学院入学資格審査
- その他

上記3で「その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

回答を入力

## V 大学院進学を希望しない方へ

1. 大学院を希望しない人にお尋ねします。希望しない理由をお答えください(複数回答可)

- 仕事との両立ができない
- 経済的理由
- 体力がない
- 家庭との両立ができない
- 入学試験の準備ができていない
- 今の卒後教育で十分
- 必要性がわからない
- その他

上記1で、「その他」を選択した場合、具体的にご記入ください。

回答を入力

---

## 東京医科大学大学院看護学研究科 設置 ニーズ調査（在学生向け）

本学は、高度な専門的知識・技術に基づく看護実践能力を備えた人材、看護学の基礎的教育研究の能力を備えた人材、その他共通基盤として生涯に渡り自ら学び続ける力を備えた人材を養成するために、大学院（看護学研究科・修士課程）の設置を考えております。つきましては、在学生の皆様の方の大学院開設や進学に関するご希望、ご意見をお聞きし、今後の参考にしたいと思います。回答に要する時間は3分程度です。2024年4月30日までにご協力よろしくお願いいたします。

okadaytmu@gmail.com [アカウントを切り替える](#)



\* 必須の質問です

メールアドレス \*

メールアドレス \_\_\_\_\_

### 無題のセクション

【あなた自身について】 \*

1. あなたの学年は

- 1年
- 2年
- 3年
- 4年

2. あなたの性別は \*

- 男性
- 女性

### 【卒業後の進路】

3. 卒業後の進路をどのように考えていますか。あてはまるものすべてをチェック \*  
してください。

- ①大学院進学
- ②就職
- ③その他

4. 設問3で、①を選択した方に質問です。卒業後は、どの時点で進学したいと考えますか？

- ①卒業直後
- ②卒業から1～2年後
- ③卒業から3～4年後
- ④卒業から5年以上後
- その他: \_\_\_\_\_

5. 設問3で、①を選択した方に質問です。志望したい大学院は、どれに該当しますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- ①国立
- ②公立
- ③私立

6. 設問3で、①を選択した方に質問です。大学院で学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- ①看護系大学院
- ②（看護系以外の）医学系大学院
- ③その他の大学院

7. 東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）が開設された場合、受験を希望しますか。次より一つ選んでください。\*

- ①第一志望として受験する
- ②第二志望として受験する
- ③第三志望として受験する
- ④受験しない

8. 設問7で①～③を選択した方に質問です。東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選んでください。

- ①入学する
- ②志望順位が上位の、他の志望校が不合格の場合に入学する
- ③入学しない

9. 設問6で①②を選択した方に質問です。希望する分野（領域）についてお答えください。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- ①基礎看護学分野（基盤看護学領域）
- ②がん看護学分野（療養支援看護学領域）
- ③精神看護学分野（療養支援看護学領域）
- ④こども看護学分野（こども・女性看護学領域）
- ⑤ウィメンズヘルス看護学分野（こども・女性看護学領域）
- ⑥公衆衛生看護学分野（広域看護学領域）
- ⑦国際看護学分野（広域看護学領域）
- ⑧その他

10. 大学院設置に向けてのご希望、ご意見を自由に記入してください。

回答を入力

東京医科大学大学院看護学研究科 設置ニーズ調査 配布先一覧(看護職対象)			
	《法人名》	《施設名》	《〒》 《住所》
1		東京医科大学病院	160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目7-1
2		東京医科大学八王子医療センター	193-0998 東京都八王子市館町1163番地
3		東京医科大学茨城医療センター	300-0395 茨城県稲敷郡阿見町中央3丁目20-1
4	NPO法人	ビルコン	191-0041 東京都日野市南平7-24-82
5	医療法人社団SJS	金子レディースクリニック	182-0021 東京都調布市調布ヶ丘3-19-13
6	公益社団法人地域医療振	東京北医療センター	115-0053 東京都北区赤羽台4-17-56 看護部長 渡井恵様
7		たらちね助産院	168-0072 東京都杉並区高井戸東4-7-7 サニコーホ高井戸東1F
8	NPO法人	子育てママ応援塾ほっこり〜の	114-0031 東京都北区十条仲原1-22-5
9		八千代助産院おとわバース	112-0013 東京都文京区音羽1-19-18
10	日本赤十字社 東京都支部	武蔵野赤十字病院	180-8610 東京都中野区本町5-19-5 看護部長 奥田悦子様
11		産前産後ケアハウスUmbilicus(アン	164-0012 東京都中野区本町5-19-5
12	医療法人社団明芳会	板橋中央総合病院	174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7
13	社会福祉法人 日本心身障	島田療育センター	206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1
14	日本肢体不自由児協会	心身障害児総合医療療育センター	173-0037 東京都板橋区小茂根1-1-10 看護部長 川口香織様
15	社会福祉法人	かがやき会	169-0075 東京都新宿区高田馬場1-15-6
16	医療法人社団 碧水会	長谷川病院	181-8586 東京都三鷹市大沢2-20-36 看護部長 大野千秋様
17	医療法人社団	秦野厚生病院	257-0003 神奈川県秦野市南矢名2丁目12番1号
18	株式会社Link With	訪問看護ステーション Wing	225-0024 神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町1167-1 ラバーブル昌和109号室
19	㈱円グループ	訪問看護ステーション卵	190-0011 東京都立川市高松町1-17-20 粕谷ビル2F
20	合同会社エムエムIMS	笑む笑む訪問看護ステーション	181-0012 東京都三鷹市上連雀2-4-1 鈴木ビル4F
21	新宿区	落合保健センター	161-0033 新宿区下落合4-6-7
22	新宿区	榎町高齢者総合相談センター	162-0064 新宿区市谷仲之町2-42 防災センター内
23	新宿区	柏木高齢者総合相談センター	169-0074 新宿区北新宿3-27-6 北新宿特別養護老人ホーム(かしわ苑)内 新宿区戸山2-27-2
24	新宿区	若松町高齢者総合相談センター	162-0052 実習指導ご担当 竹澤有貴様(副所長) 呉屋百合菜様 杉田和 也子様
25	新宿区	落合第一高齢者総合相談センター	161-0032 中落合2-5-21 聖母ホーム内 副管理者 関口美樹様
26	新宿区	落合第二高齢者総合相談センター	161-0034 上落合2-22-19 キャンパスエール上落合2階 保健師 藤田早紀様 後藤桃菜様
27	公益財団法人 榑原記念	榑原記念財団附属榑原記念病院	183-0003 東京都府中市朝日町3-16-1
28	東京都立病院機構	東京都立小児総合医療センター	183-8661 東京都府中市武蔵台2丁目8番地の29号

【資料8】 東京医科大学大学院看護学研究科 設置ニーズ調査  
管理職対象集計結果

I 貴施設について

1. 貴機関・貴施設の所在地を教えてください

n=48

	回答数	%
茨城県	1	2.1
東京都	47	97.9

2. 現在の勤務先について教えてください。

n=48

	回答数	%
行政機関	2	4.2
病院・診療所	46	95.8

3. 貴機関・貴施設における大学院修士・博士課程修了の看護職者及び看護  
教員の勤務の有無についてお答えください

n=48

	回答数	%
勤務している	42	87.5
勤務していない	5	10.4
わからない	1	2.1

(大学院修士・博士課程修了の人材が「勤務している」場合)ご支障がなければ、  
現時点で勤務されている人数をわかる範囲でお答えください

n=21

	回答数	%
0名	1	4.8
1名	5	23.8
2名	2	9.5
4名	2	9.5
5～6人位	1	4.8
7名	1	4.8
8名	1	4.8
看護部や専門領域など	1	4.8
不明	7	33.3

II 東京医科大学大学院看護学研究科について

1. 東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)が養成する人材は、これからの社会にとって必要であると思われますか

n=48

	回答数	%
とても必要である	23	47.9
ある程度必要である	25	52.1

2. 貴機関・貴施設において今後、東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)が養成する人材(修了生)を採用したいと思われますか

n=48

	回答数	%
採用したい	31	64.6
どちらとも言えない	17	35.4

- (2. で「採用したい」の場合)よろしければ単年度で採用が可能と思われる人数をご記入ください

n=10

	回答数	%
1人	2	20
各専門領域に1名ずつくらい	1	10
看護の質の向上のための役割を臨むことができる	1	10
制限するつもりはない	1	10
不明	4	40
面接試験によつての採用のため、最大2名程度から検討したいです。	1	10

3. 採用対象として考慮するコース・領域のあてはまるものに全てチェックを入れてください。

n=48

	回答数	%
基礎看護学(基礎看護学領域)	15	31.3
がん看護学(療養支援看護学領域)	28	58.3
精神看護学(療養支援看護学領域)	21	43.8
こども看護学(こども・女性看護学領域)	18	37.5
ウイメンズヘルス看護学(こども・女性看護学領域)	14	29.2
公衆衛生看護学領域(広域看護学領域)	12	25
国際看護学(広域看護学領域)	15	31.3
特に決めていない	18	37.5

4. 大学院修了者に期待する業務・役割は何ですか。あてはまるもの全てにチェックを入れてください

n=47

	回答数	%
専門を活かした業務	44	93.6
指導的役割	32	68.1
教育的役割	39	83
臨床での研究促進と支援	1	2.1
研究	1	2.1
研究スキルの教授	1	2.1
管理(問題解決)	1	2.1

5. 貴機関・貴施設で勤務されている看護職者・看護教員を東京医科大学大学院看護学研究科(仮称)で学ばせることへのご意向をお答えください。

n=47

	回答数	%
意見を述べる立場にない	1	2.2
希望があれば協力したい	1	2.2
個人に任せる	1	2.2
進学・入学を推奨する	37	80.4
進学・入学を推奨する予定はない	5	10.9
様子を見ながら検討したい	1	2.2

2024年1月吉日

所属長様  
ならびに看護管理者様

東京医科大学医学部看護学科  
学科長 阿部 幸恵

### 大学院開設に関する看護管理者様へのニーズ調査 ご協力をお願い

平素より、看護学科の教育に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学は、高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材、および将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材を養成するため大学院（看護学研究科・修士課程）の設置を考えております。詳細は資料1をご参照ください。

つきましては、本学の大学院開設にあたり、看護管理者の皆様に本学大学院修了者の人材需要（本学大学院へ看護職を進学させたいか、修了生を採用したいかなど）に関してご意見をお伺いしたく存じます。貴施設の看護管理者1名の方にご回答をお願いします。

アンケートは無記名で行い、本学大学院の開設に関する資料としてのみ活用させていただきます。回答に要する時間は5分程度です。

アンケートはQRコードを用いて読み取る方法を用いております。2024年1月31日（水）までにご協力賜りますようお願い申し上げます。

お手数をおかけして誠に申し訳ございませんが、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

URL

<https://forms.gle/LVhKgbnByVy1a6Xf9>

QRコード



<問い合わせ先>

看護学科 大学院設置準備委員会 平井和恵

Email : k-hirai@tokyo-med.ac.jp

電話 : (直通) 03-5357-7304

# 東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）の概要

資料 1

## 名称

東京医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 修士課程

## 設置の理念

高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材、および将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材を養成するため大学院（看護学研究科・修士課程）を設置する。

## 養成する人材像

- ・ 高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材
- ・ 将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材

## アドミッション・ポリシー

- (1) 看護職として生涯に渡り自ら学び続ける意欲を有する人
- (2) 看護学の専門領域における知識・実践力を有する人
- (3) 研究に関する基礎的知識を有し、論理的思考のできる人
- (4) 幅広い視野で事象を捉える力と教養を有する人
- (5) 将来、看護実践者、研究者、教育者として看護の質向上への貢献を目指す人

## 設置場所

〒160-8402 東京都新宿区新宿 6-1-1 東京医科大学 <https://www.tokyo-med.ac.jp/access/>

アクセス 丸ノ内線「新宿御苑駅」より徒歩 7 分、

副都心線、都営新宿線「新宿三丁目駅」より徒歩 10 分

JR 線、小田急線、京王線、西武新宿線「新宿駅」より徒歩 20 分

## 研究科の構成

領域構成		教育課程	
領域名	分野名	研究コース	高度実践看護師コース
基盤看護学	基礎看護学	○	
療養支援看護学	がん看護学	○	○
	精神看護学	○	○
こども・女性看護学	こども看護学	○	○
	ウイメンズヘルス看護学	○	
広域看護学	公衆衛生看護学	○	
	国際看護学	○	

**学生納付金（予定）**

入学金：30万円、授業料：100万円、合計130万円（施設整備費を含む。）

\*高度実践看護師コースは別途、実習費：10万円（年額）

**近隣私立看護系大学院（修士課程）の状況**

\*2023年9月現在

大学院	入学定員	学生納付金（初年度）
北里大学大学院看護学研究科	15	830,000円（看護学研究コース） 950,000円（高度実践看護学コース）
順天堂大学大学院医療看護学研究科	29	825,000円
聖路加国際大学大学院	32	1,350,000円（修士論文コース） 1,500,000円（高度実践看護学コース）
帝京大学大学院医療技術学研究科看護学専攻	10	1,040,400円（自大学出身） 1,142,400円（他大学出身）
東京医療保健大学大学院保健学研究科	25	1,584,500円（プライマリ看護学領域・ 助産師コース以外） 1,634,500円（プライマリ看護学領域のみ）
東京慈恵医科大学大学院医学系研究科看護学専攻	10	1,000,000円
東京女子医科大学大学院看護学研究科	16	1,400,000円（自大学出身） 1,500,000円（他大学出身）
東邦大学大学院看護学研究科	15	1,100,000円（CNSコース、実践助産学課程、 高度実践公衆衛生看護学課程履修者） 900,000円（CNSコース、実践助産学課程、 高度実践公衆衛生看護学課程履修者以外）
日本赤十字看護大学大学院看護学研究科	32	1,904,500円
武蔵野大学大学院看護系研究科	10	1,372,000円

上記の計画は予定であり、変更の可能性があります。



## II 東京医科大学大学院看護学研究科について

1. 東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）が養成する人材は、これからの社会にとって必要であると思われますか \*

- とても必要である
- ある程度必要である
- あまり必要ではない
- 必要ではない

2. 貴機関・貴施設において今後、東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）が養成する人材（修了生）を採用したいと思われますか \*

- 採用したい
- 採用しない
- どちらとも言えない

（2.で「採用したい」の場合）よろしければ単年度で採用が可能と思われる人数をご記入ください

回答を入力

3. 採用対象として考慮するコース・領域のあてはまるものに全てチェックを入れてください。 \*

- 基礎看護学（基盤看護学領域）
- がん看護学（療養支援看護学領域）
- 精神看護学（療養支援看護学領域）
- こども看護学（こども・女性看護学領域）
- ウィメンズヘルス看護学（こども・女性看護学領域）
- 公衆衛生看護学（広域看護学領域）
- 国際看護学（広域看護学領域）
- 特に決めていない

4. 大学院修了者に期待する業務・役割は何ですか。あてはまるもの全てにチェックを入れてください

- 専門性を活かした業務
- 指導者的役割
- 教育的役割
- その他: \_\_\_\_\_

5. 貴機関・貴施設で勤務されている看護職者・看護教員を東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）で学ばせることへのご意向をお答えください。

- 進学・入学を推奨する
- 進学・入学を推奨する予定はない
- その他: \_\_\_\_\_

### III 東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）で学ばせるの条件

1. 「進学・入学を推奨すると回答した方」に伺います。貴機関・貴施設で勤務されている看護職者・看護教員を東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）で学ばせるための条件をお答えください。

- 現職のまま（社会人として）進学・入学させたい
- 研修制度（就学助成金）・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい
- その他: \_\_\_\_\_

### IV 東京医科大学大学院看護学研究科に対する要望

1. 東京医科大学大学院看護学研究科（仮称）に対して期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

回答を入力  
\_\_\_\_\_

東京医科大学大学院看護学研究科 設置ニーズ調査 配布先一覧(管理職対象)			
《法人名》	《施設名》	《〒》	《住所》
1	東京医科大学病院	160-0023	東京都新宿区西新宿6丁目7-1
2	東京医科大学八王子医療センター	193-0998	東京都八王子市館町1163番地
3	東京医科大学茨城医療センター	300-0395	茨城県稲敷郡阿見町中央3丁目20-1
4	医療法人社団SJS 金子レディースクリニック	182-0021	東京都調布市調布ヶ丘3-19-13
5	桶谷式母乳育児相談室 アヴェクトワ助産院	185-0012	東京都国分寺市本町4-12-22 ハイネス国分寺318
6	公益社団法人地域医療振 東京北医療センター	115-0053	東京都北区赤羽台4-17-56 看護部長 渡井恵様
7	たらちね助産院	168-0072	東京都杉並区高井戸東4-7-7 サニコーポ高井戸東1F
8	助産師訪問PAM(パム)	165-0027	東京都中野区野方5-18-3
9	桶谷式母乳育児相談室 あかり助産院	184-0004	東京都小金井市本町5-13-11 マジック・アリス401号
10	八千代助産院おとわバース	112-0013	東京都文京区音羽1-19-18
11	日本赤十字社 東京都支部 武蔵野赤十字病院	180-8610	東京都中野区本町5-19-5 看護部長 奥田悦子様
12	産前産後ケアハウスUmbilicus(アン)	164-0012	東京都中野区本町5-19-5
13	医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院	174-0051	東京都板橋区小豆沢2-12-7
14	社会福祉法人 日本心身障 島田療育センター	206-0036	東京都多摩市中沢1-31-1
15	日本肢体不自由児協会 心身障害児総合医療療育センター	173-0037	東京都板橋区小茂根1-1-10 看護部長 川口香織様
16	社会福祉法人 かがやき会	169-0075	東京都新宿区高田馬場1-15-6
17	医療法人社団 碧水会 長谷川病院	181-8586	東京都三鷹市大沢2-20-36 看護部長 大野千秋様
18	医療法人社団 秦野厚生病院	257-0003	神奈川県秦野市南矢名2丁目12番1号
19	株式会社Link With 訪問看護ステーション Wing	225-0024	神奈川県横浜市青葉区市ケ尾町1167-1 ラバーブル昌和109号室
20	㈱円グループ 訪問看護ステーション卵	190-0011	東京都立川市高松町1-17-20 粕谷ビル2F
21	合同会社エムエムIMS 笑む笑む訪問看護ステーション	181-0012	東京都三鷹市上連雀2-4-1 鈴木ビル4F
22	荒川区 荒川区保健所	116-8507	荒川区荒川2-11-1 実習指導ご担当 富澤晃子様
23	渋谷区 渋谷区保健所	150-8010	渋谷区宇田川町1-1 地域保健課 保健指導主査 様
24	渋谷区 中央保健相談所	150-0002	渋谷区渋谷1-18-21 保健サービス係 保健指導主査 様
25	渋谷区 幡ヶ谷保健相談所	151-0072	渋谷区幡ヶ谷3-39-1 保健サービス係 保健指導主査 様
26	新宿区 落合保健センター	161-0033	新宿区下落合4-6-7
27	杉並区 高円寺保健センター	166-0003	杉並区高円寺南3-24-15 保健指導担当係長 鎌倉由起 様
28	中野区 中野区保健所	164-0001	中野区中野2-17-4 保健企画課医療連携担当 実習計画ご担当者様
29	中野区 南部すこやか福祉センター	164-0013	中野区弥生町5-11-26 実習指導ご担当 長谷川美咲様 阪辻恭子様
30	中野区 鷺宮すこやか福祉センター	165-0033	中野区若宮3-58-10 実習指導ご担当 木村麻里様 高木寛子様
31	新宿区 若松町高齢者総合相談センター	162-0052	新宿区若松2-21-4 実習指導ご担当 竹澤有貴様(副所長) 呉屋百合菜様 杉田和歌子様
32	新宿区 落合第一高齢者総合相談センター	161-0032	中落合2-5-21 聖母ホーム内 副管理者 関口美樹様
33	公益財団法人 榊原記念 榊原記念財団附属榊原記念病院	183-0003	東京都府中市朝日町3-16-1
34	東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター	183-8661	東京都府中市武蔵台2丁目8番地の29号

2021 年度（2022 年度実施）

『看護系大学に関する実態調査』

（日本看護系大学協議会と日本私立看護系大学協会との協働実施）

一般社団法人 日本看護系大学協議会 データベース委員会

委員長：内布敦子（敦賀市立看護大学）

委員：朝倉京子（東北大学大学院）、石田千絵（日本赤十字看護大学）、

伊部亜希（敦賀市立看護大学）、鈴木久美（大阪医科薬科大学）、西村ユミ（東京都立大学）

一般社団法人 日本私立看護系大学協会 大学運営・経営委員会

委員長：百瀬由美子（日本赤十字豊田看護大学）

委員：井上智子（国際医療福祉大学）、棚橋泰之（神奈川歯科大学短期大学部）、

長澤正志（淑徳大学）

「2021 年度（2022 年度実施）看護系大学に関する実態調査」回収状況

	全体	国立・省庁大学校	公立	私立
配布数	297*	44	51*	202
回答数	288	44	51	193
回収率 (%)	97.0	100	100	95.5

※大阪公立大学は大阪府立大学と大阪市立大学の2校から回答を得ており、2校として集計しています。

<注記>

- 1) 1 大学で複数の看護の教育課程を持つ場合は課程数としてカウントしています。
- 2) 過年度の数値は、過去の報告書を確認して記載しています。  
今回の報告書では、過年度情報は 2019 年度、2020 年度分とし、  
2019 年度→2020 年度→2021 年度（今回調査分）を記載しています。

# 目次

## 1. 看護系学部・学科について

- 表 1-1. 卒業生
- 表 1-2. 編入制度の有無
- 表 1-3. 編入生入学者の出身学校種別
- 表 1-4. 学部・学科に所属する全教員数と男女比
- 表 1-5. 学部・学科に所属する全教員数と職位ごとの割合
- 表 1-6. 年齢構成別の教員数
- 表 1-7. 看護教員の最上位取得学位名称別の教員数

## 2. 看護系大学院について

- 表 2-1. 大学院の有無
- 表 2-2. 修士課程／博士前期課程
- 表 2-3. 博士後期課程
- 表 2-4. 開講状況
- 表 2-5. 科目等履修制度の設置
- 表 2-6. 大学院に所属する全教員数と男女比
- 表 2-7. 大学院に所属する専任教員数

## 3. 看護系大学学部・学科、大学院の学生情報について

- 表 3-1. 在学学生数
- 表 3-2. 国立大学の在学学生数
- 表 3-3. 公立大学の在学学生数
- 表 3-4. 私立大学の在学学生数
- 表 3-5. 学部・学科での教員一人あたり平均学生数
- 表 3-6. 修士課程／博士前期課程での教員一人あたり平均学生数
- 表 3-7. 博士後期課程での教員一人あたり平均学生数

## 4. 看護系大学学部・学科、大学院の入学状況

- 表 4-1. 学部・学科、大学院の入学状況
- 表 4-2. 国立大学・大学院の入学状況
- 表 4-3. 公立大学・大学院の入学状況
- 表 4-4. 私立大学・大学院の入学状況

## 5. 看護系大学・大学院の卒業生・修了生の状況

- 表 5-1. 卒業生および修了生の人数
- 表 5-2. 卒業・修了時における、取得・既取得免許別人数

## 6. 看護系大学・大学院の卒業生・修了生の就職・進学状況

- 表 6. 卒業生、修了生の就職・進学状況

## 7. 教員の研究活動および社会貢献について

- 表 7-1. 研究費の取得状況
- 表 7-2. 設置主体別の研究費取得状況
- 表 7-3. 公開講座について

## 8. FD・SDの状況について

- 表 8. FD・SDの開催状況

## 9. 教員および学生の評価について

- 表 9-1. 教員の自己評価・他者評価の実施状況
- 表 9-2. 学生の授業評価の実施状況
- 表 9-3. GPAの導入状況
- 表 9-4. GPA制度の活用について
- 表 9-5. CAPの導入状況

#### 4. 看護系大学学部・学科、大学院の入学状況

表4-1. 学部・学科、大学院の入学状況

(人)

	全 体									
	定員数		男		女		合計			
	合計	平均	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	充足率	倍率
学部・学科生 (回答課程数=281)	24,864	88.5	12,153	2,205	119,715	23,559	131,868	25,764	103.6	5.1
修士課程/博士前期課程 (回答課程数=180)	3,020	16.8	504	368	1,943	1,418	2,447	1,786	59.1	1.4
博士後期課程 (回答課程数=97)	720	7.4	139	117	457	349	596	466	64.7	1.3

学部・学科の入学志願者数は延べ131,868名(2020年度139,037名、2019年度139,005名)であり、入学者数は25,764名(2020年度25,217名、2019年度25,090名)であった。充足率は103.6%、倍率は5.1倍であった(2020年度5.5倍、2019年度5.5倍)。性別で見ると、男性の志願者数は12,153名(2020年度12,355名、2019年度12,478名)、入学者は2,205名(2020年度2,250名、2019年度2,115名)であった。一方、女性では志願者数は119,715名(2020年度126,682名、2019年度126,527名)、入学者は23,559名(2020年度22,967名、2019年度22,975名)であった。

大学院修士課程/博士前期課程の志願者数は2,447名(2020年度2,452名、2019年度2,476名)であり、入学者数は1,786名(2020年度1,828名、2019年度1,792名)、定員は3,020名(2020年度2,862名、2019年度2,695名)だった。充足率は59.1%、倍率は1.4倍であった(2020年度1.3倍、2019年度1.4倍)。博士後期課程では、志願者数は596名(2020年度622名、2019年度656名)、入学者数は466名(2020年度456名、2019年度500名)、定員数は720名(2020年度666名、2019年度545名)であった。充足率は64.7%、倍率は1.3倍であった(2020年度1.4倍、2019年度1.3倍)。

表4-2. 国立大学・大学院の入学状況

(人)

	国立大学									
	定員数		男		女		合計			
	合計	平均	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	充足率	倍率
学部・学科生 (回答課程数=43)	3,135	72.9	1,069	184	10,542	2,889	11,611	3,073	98.0	3.8
修士課程/博士前期課程 (回答課程数=40)	994	24.9	182	142	616	429	798	571	57.4	1.4
博士後期課程 (回答課程数=30)	306	10.2	79	61	197	145	276	206	67.3	1.3

国立大学における学部・学科の入学志願者数は11,611名であり(2020年度10,351名、2019年度11,068名)、入学者数は3,073名であった(2020年度3,005名、2019年度3,135名)。充足率は98.0%、倍率は3.8倍であった(2020年度3.4倍、2019年度3.5倍)。性別で見ると、男性の志願者数は1,069名で、184名が入学した(2020年度志願者数938名、入学者数249名、2019年度志願者数820名、入学者数212名)。女性では志願者数は10,542名で、2,889名が入学した(2020年度志願者数9,413名、入学者数2,756名、2019年度志願者数10,248名、入学者数2,923名)。

大学院修士課程/博士前期課程の志願者数は798名で(2020年度767名、2019年度880名)、入学者数は571名であった(2020年度544名、2019年度570名)。充足率は57.4%、倍率は1.4倍であった(2020年度1.4倍、2019年度1.5倍)。博士後期課程では、志願者数は276名(2020年度244名、2019年度271名)、入学者数は206名(2020年度181名、2019年度197名)であった。充足率は67.3%、倍率は1.3倍であった(2020年度1.3倍、2019年度1.4倍)。

表4-3. 公立大学・大学院の入学状況

(人)

	公立大学									
	定員数		男		女		合計			
	合計	平均	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	充足率	倍率
学部・学科生 (回答課程数=50)	4,127	82.5	1,135	246	15,319	3,937	16,454	4,183	101.4	3.9
修士課程/博士前期課程 (回答課程数=45)	624	13.9	88	62	475	328	563	390	62.5	1.4
博士後期課程 (回答課程数=31)	117	3.8	31	30	99	77	130	107	91.5	1.2

公立大学における学部・学科の入学志願者数は16,454名であり(2020年度15,197名、2019年度15,589名)、入学者数は4,183名であった(2020年度4,203名、2019年度4,069名)。充足率は101.4%、倍率は3.9倍であった(2020年度3.6倍、2019年度3.8倍)。性別でみると、男性の志願者数は1,135名で、246名が入学した(2020年度志願者数1,020名、入学者数250名、2019年度志願者数1,090名、入学者数235名)。女性では志願者数は15,319名で、3,937名が入学した(2020年度志願者数14,177名入学者数3,953名、2019年度志願者数14,499名、入学者数3,834名)。

大学院修士課程/博士前期課程の志願者数は563名で(2020年度567名、2019年度594名)、入学者数は390名であった(2020年度457名、2019年度412名)。充足率は62.5%、倍率は1.4倍であった(2020年度1.2倍、2019年度1.4倍)。博士後期課程では、志願者数は130名(2020年度141名、2019年度145名)、入学者数は107名(2020年度100名、2019年度107名)であった。充足率は91.5%、倍率は1.2倍であった(2020年度1.4倍、2019年度1.4倍)。

表4-4. 私立大学・大学院の入学状況

(人)

	私立大学									
	定員数		男		女		合計			
	合計	平均	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	充足率	倍率
学部・学科生 (回答課程数=188)	17,602	93.6	9,949	1,775	93,854	16,733	103,803	18,508	105.1	5.6
修士課程/博士前期課程 (回答課程数=95)	1,402	14.8	234	164	852	661	1,086	825	58.8	1.3
博士後期課程 (回答課程数=36)	297	8.3	29	26	161	127	190	153	51.5	1.2

私立大学における学部・学科の入学志願者数は103,803名であり(2020年度113,489名、2019年度112,348名)、入学者数は18,508名であった(2020年度18,009名、2019年度17,886名)。充足率は105.1%、倍率は5.6倍であった(2020年度6.3倍、2019年度6.3倍)。性別でみると、男性の志願者数は9,949名で、1,775名が入学した(2020年度志願者数10,397名、入学者数1,751名、2019年度志願者数10,568名、入学者数1,668名)。女性では志願者数は93,854名で、16,733名が入学した(2020年度志願者数103,092名、入学者数16,258名、2019年度志願者数101,780名、入学者数16,218名)。

大学院修士課程/博士前期課程の志願者数は1,086名で(2020年度1,118名、2019年度1,002名)、入学者数は825名であった(2020年度827名、2019年度810名)。充足率は58.8%、倍率は1.3倍であった(2020年度1.4倍、2019年度1.2倍)。博士後期課程では、志願者数は190名(2020年度237名、2019年度240名)、入学者数は153名(2020年度175名、2019年度196名)であった。充足率は51.5%、倍率は1.2倍であった(2020年度1.4倍、2019年度1.2倍)。

# 新設組織が置かれる都道府県への入学状況

## ○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	東京都	100.80%	103.48%	103.46%
2				

大学

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

## ○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	保健系		82.38%	85.78%
2				

大学院修士課程

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）  
 大学学部学科等名：東京医科大学医学部看護学科

別紙2

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均	
総合型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	学校推薦型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人
		延べ人数	志願者数	42人	44人	44人	39人	35人
受験者数			42人	44人	44人	39人	35人	41人
合格者数			16人	15人	16人	15人	17人	15.8
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0
実人数		志願者数	42人	44人	44人	39人	35人	40.8
		受験者数	42人	44人	44人	39人	35人	40.8
		合格者数	16人	15人	16人	15人	17人	15.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
入学者数		16人	15人	16人	15人	17人	15.8	
一般選抜		募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60
		延べ人数	志願者数	377人	466人	377人	433人	450人
	受験者数		371人	461人	364人	419人	421人	407.2
	合格者数		120人	146人	143人	130人	159人	139.6
	うち追加合格者数		0人	36人	43人	10人	39人	25.6
	辞退者数		13人	12人	16人	20人	27人	17.6
	実人数	志願者数	377人	466人	377人	433人	450人	420.6
		受験者数	371人	461人	364人	419人	420人	407
		合格者数	120人	146人	143人	130人	159人	139.6
		うち追加合格者数	0人	36人	43人	10人	39人	25.6
		辞退者数	13人	12人	16人	20人	27人	17.6
	入学者数	71人	66人	64人	62人	62人	65	
	共通テスト利用入試	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5
		延べ人数	志願者数	196人	180人	205人	162人	224人
受験者数			196人	180人	205人	162人	224人	193.4
合格者数			30人	46人	21人	22人	59人	35.6
うち追加合格者数			0人	5人	6人	13人	43人	13.4
辞退者数			3人	4人	1人	3人	3人	2.8
実人数		志願者数	196人	180人	205人	162人	224人	193.4
		受験者数	196人	180人	205人	162人	224人	193.4
		合格者数	30人	46人	21人	22人	59人	35.6
		うち追加合格者数	0人	5人	6人	13人	43人	13.4
		辞退者数	3人	4人	1人	3人	3人	2.8
入学者数		5人	5人	6人	5人	2人	4.6	
その他の特別選抜（社会）		募集人数	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	#DIV/0!
		延べ人数	志願者数	8人	3人	3人	2人	2人
	受験者数		7人	2人	3人	2人	2人	3.2
	合格者数		1人	1人	2人	2人	1人	1.4
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	8人	3人	3人	2人	2人	3.6
		受験者数	7人	2人	3人	2人	2人	3.2
		合格者数	1人	1人	2人	2人	1人	1.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数	0人	0人	2人	2人	1人	1	
	合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
		延べ人数	志願者数	623人	693人	629人	636人	711人
受験者数			616人	687人	616人	622人	682人	645人
合格者数			167人	208人	182人	169人	236人	192人
うち追加合格者数			0人	41人	49人	23人	82人	39人
辞退者数			16人	16人	17人	23人	30人	20人
実人数		志願者数	623人	693人	629人	636人	711人	658人
		受験者数	616人	687人	616人	622人	681人	644人
		合格者数	167人	208人	182人	169人	236人	192人
		うち追加合格者数	0人	41人	49人	23人	82人	39人
		辞退者数	16人	16人	17人	23人	30人	20人
入学者数		92人	86人	88人	84人	82人	86人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80
入学定員充足率	1.15	1.08	1.10	1.05	1.03	1.08
歩留率	0.55	0.35	0.38	0.44	0.26	0.39

（備考）

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：医学部看護学科WEBオープンキャンパス来場者

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	6524人	15244人	①取組概要 コロナ禍においてWEBオープンキャンパスを実施した。カリキュラムや本学の特徴を伝えるコンテンツの他、コロナ禍で実際に学生が受講した「オンライン講義」を視聴できるコーナーや、キャンパスライフの紹介コーナーなどを展開した。 ②入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。  受験対象の10%弱の受験が得られ、学部では選考倍率が高いことから差し引き、研究科では、入学定員6名に対して2名を確保出来る。
うち受験対象者数(b)	3851人	5630人	
うち受験者数(c)	303人	410人	
うち入学者数(d)	62人	73人	
(受験率 c/b)	0.1人	0.1人	
(入学率 d/b)	0.0人	0.0人	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：医学部看護学科パンフレット配布

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	5871人	7622人	①取組概要 本学ホームページおよび各進学情報サイト上にて本学の情報を掲出し、本学の特徴と魅力を伝えるとともに、資料請求を受け付け配布を行った。 ②入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。  受験対象の13~15%の受験が得られ、学部では選考倍率が高いことから差し引き、定員6名に対して入学定員6名に対して2名を確保出来る。
うち受験対象者数(b)	3010人	3427人	
うち受験者数(c)	407人	532人	
うち入学者数(d)	71人	74人	
(受験率 c/b)	0.1人	0.2人	
(入学率 d/b)	0.0人	0.0人	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：ダイレクトメール送付

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	10000人	10000人	①取組概要 受験対象年度の志願者を対象に、出願促進を目的としてダイレクトメールを送付した。 ②入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。  受験対象の1~2%弱しか受験が得られていないことから、入学定員6名に対して入学者見込みはあまり望めない。
うち受験対象者数(b)	10000人	10000人	
うち受験者数(c)	125人	224人	
うち入学者数(d)	20人	31人	
(受験率 c/b)	0.0人	0.0人	
(入学率 d/b)	0.0人	0.0人	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：オンライン個別相談会

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	67人	30人	①取組概要 コロナ禍においてZoomを活用したオンライン個別相談会を開催した。教員と学生をペアとして受験希望者の対応をすることで、幅広い質問に対応した。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。  受験対象の64~88%の受験が得られている為、入学定員6名に対して2名の入学を見込む。
うち受験対象者数(b)	42人	24人	
うち受験者数(c)	27人	21人	
うち入学者数(d)	2人	5人	
(受験率 c/b)	0.6人	0.9人	
(入学率 d/b)	0.0人	0.2人	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：受験生サイトアクセス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要  ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	